

アパート系住民意識調査報告書

平成18年1月



目 次

第1章	アパート系住民意識調査の概要	1
第2章	調査結果のまとめ	2
第3章	単純集計結果	4
第4章	男女別クロス集計結果	11
第5章	年齢別クロス集計結果	17
第6章	地域別クロス集計結果	33
第7章	自由回答結果	49
資料	調査票	53

第1章 アパート系住民意識調査の概要

(1) 調査目的

暮らしやすいまちづくりを推進するとともに総合計画の参考データを得るため、集合住宅に居住している市民から掛川市の住みやすさやその理由などを把握する意識調査を実施しました。

(2) 調査対象

①調査対象

市内の集合住宅にお住まいの全世帯を調査対象としました。

②配布数

9,780 枚を配布しました。

(3) 調査期間と調査方法

①調査期間

平成 17 年 12 月 1 日～平成 17 年 12 月 9 日

②調査方法

職員による配布、郵送回収

(4) 回収状況

457 票回収（回収率 4.7%）

第2章 調査結果のまとめ

（１）居住年数－年齢上昇に伴い長期的居住割合が増加

アパート系住民の居住年数は、短期的居住から長期的居住までが見られ、「10年以上」はアパート系住民の3分の1を占めていることが確認できました。20歳代の居住年数は3年未満の短期的居住が中心ですが、年齢が高くなるにつれて、長期的居住割合が高くなる傾向があり、50歳代では5割、60歳代では6割、70歳以上では8割弱が「10年以上」の長期的居住となっています。

（２）世帯人数－年齢上昇に伴い単身世帯割合が増加

アパート系住民の世帯人数は、単身世帯、夫婦世帯、家族世帯（2世代以上世帯）などの多様性がうかがえました。20歳代、30歳代の若い年代では2人世帯の割合が高く、その一方で、年齢が高くなるにつれて、単身世帯の割合が高くなる傾向が見られました。

（３）住まい選択理由－若い年代は通勤・通学利便性を重視

住まい選択の理由は、回答全体では通勤・通学の利便性が最も有力な理由でした。子育て、教育機関、公共施設、医療機関などの充実は、住まい選択の大きな理由にはなっていません。男性は通勤通学の利便性を重視する一方、女性は人的つながりを重視して住まいを選択しています。また、20歳代、30歳代の若い年代では通勤・通学の利便性を重視していますが、60歳代以上は地縁を重視して住まいを選択していることがうかがえました。

（４）住み続ける意向－掛川市にこだわらない人が半数を占める

将来も掛川市に住み続ける意向は、「特にこだわりはない」が約半数を占め、居住地にこだわりを持たない人が多いことがうかがえました。しかし、60歳代以上は、できるだけ掛川市に住み続けたい人が6割を超え、住み続ける意向が高いことがうかがえました。

（５）住みやすさ－旧大須賀町では他地域に比べ肯定的回答が低い

住みやすさに関して、肯定的回答が約5割を占めています。60歳代以上は、肯定的回答が約7割を占めています。しかし、旧掛川市や旧大東町では肯定的回答が約6割をしめていますが、旧大須賀町では3割を割り込み、アパート系住民は、旧大須賀町の住みやすさに厳しい評価をしています。

（６）住みやすいと感じる点－豊かな自然環境を評価

回答全体では、「豊かな自然環境に恵まれている」43.3%、「買物に便利である」30.6%、「公共交通機関が整備され便利である」20.4%の順番であり、住みやすいと感じる点として、豊かな自然環境が最も評価されています。しかし、70歳以上、旧大東町、旧大須賀町では、公共交通機関の利便性に関する評価は低くなっています。

（７）住みにくいと感じる点－20 歳代は買物不便、大東・大須賀は道路不便

回答全体では、「公共交通機関が利用しにくい」29.3%、「買物に不便である」26.0%、「病院など医療機関が充実していない」24.1%の順番で、住みにくいと感じる点が指摘されています。男性は移動面の不便さを指摘し、女性は買物の不便さや医療・子育て面の不満を現しています。また、20 歳代は「買物に不便である」の割合が高く、若者向けの買物に不便な様子がうかがえます。さらに、旧大東町や旧大須賀町では、「道路が悪く不便である」の割合が高くなっています。

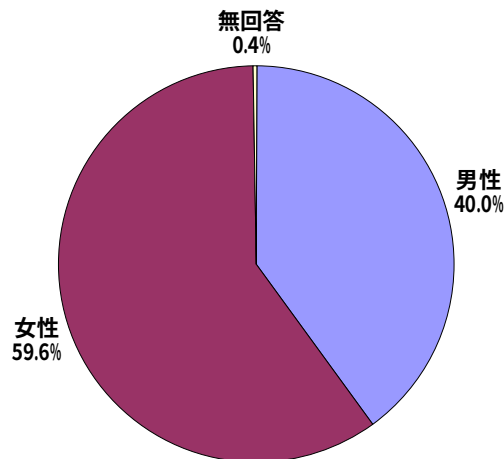
（８）掛川市が目指すべきまちづくり－誰もが健康で安らかに暮らせるまち

回答全体では、「福祉や医療を充実させ、誰もが健康で安らかに暮らせるまち」が最も高く支持されています。この結果は市民意識調査と同様です。旧大須賀町と旧大東町では「利便性の向上と均衡ある発展が期待できるまち」の割合が旧掛川市よりの高い結果となっています。

第3章 単純集計結果

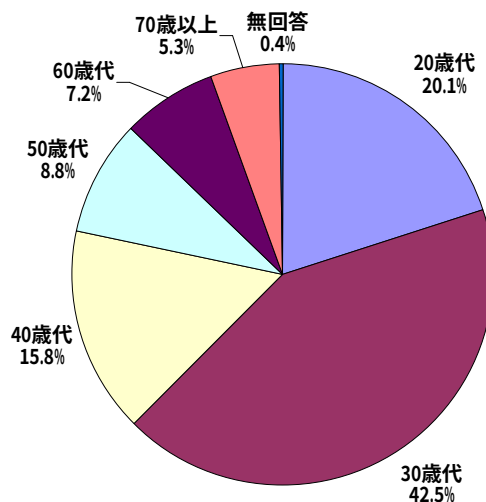
(1) 性別 (問1)

回答者の性別は、「女性」59.6%、「男性」40.0%と「女性」の割合が「男性」を上回り、市政やまちづくりに対して「女性」の関心が高いことがうかがえました。市民意識調査では、「男性」58.2%、「女性」41.4%と「男性」の割合が「女性」を上回っており、市民意識調査との差異が見られました。



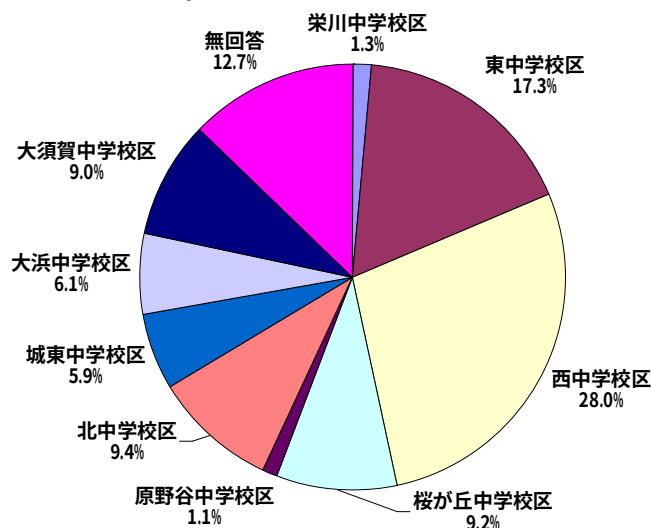
(2) 年齢 (問2)

回答者の年齢は、「30 歳代」42.5%、「20 歳代」20.1%と、若い世代の回答割合が約 6 割を占めました。一方、「40 歳代」以上の回答割合は約 4 割であり、回答は若い世代の意向が多少強く反映されていることがうかがえました。市民意識調査では、「60 歳代」23.2%、「70 歳以上」20.0%と、高齢者の意向が多少強く反映されており、差異が見られました。



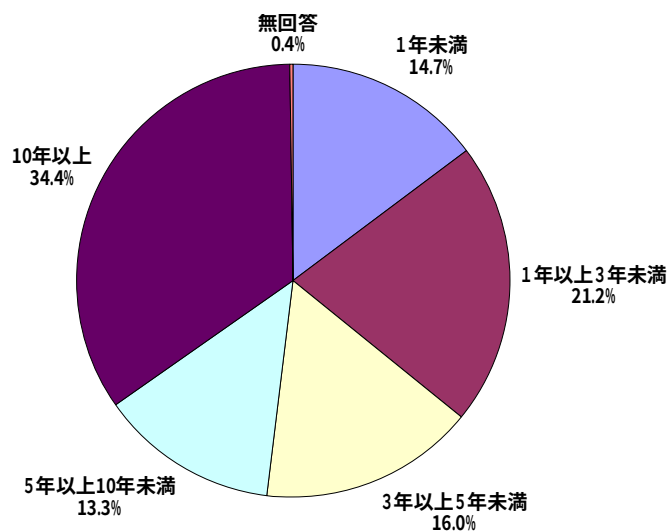
（３）住まい（問３中学校区）

回答者の住まい（中学校区）は、「西中学校区」28.0%、「東中学校区」17.3%などが上位を占め、次いで「無回答」が12.7%でした。市民意識調査では、「西中学校区」14.2%、「東中学校区」15.8%であったことと比較すると、中学校区の人口規模の違いとともに、回答者が両中学校区に多く居住していることがうかがえました。市民意識調査では、「無回答」が3.7%であったことと比較すると、アパート系住民は中学校区を知らない割合が高いこともうかがえました。



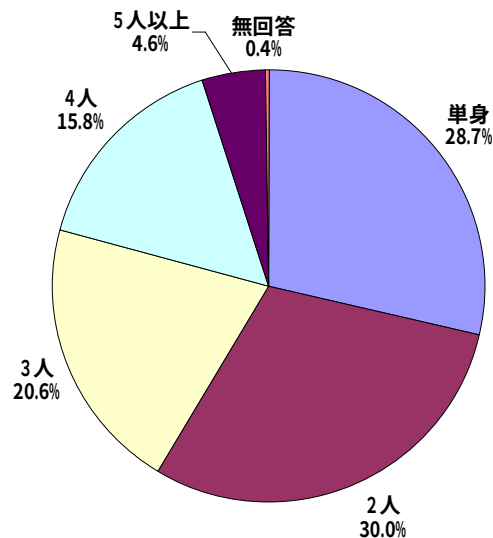
（４）居住年数（問４）

居住年数は、「10年以上」34.4%、「1年以上3年未満」21.2%、「3年以上5年未満」16.0%などが上位を占めました。居住年数「10年以上」と「3年未満」は、ほぼ同じ割合であり、掛川市の集合住宅への居住には、短期的居住と長期的居住があることがうかがえました。



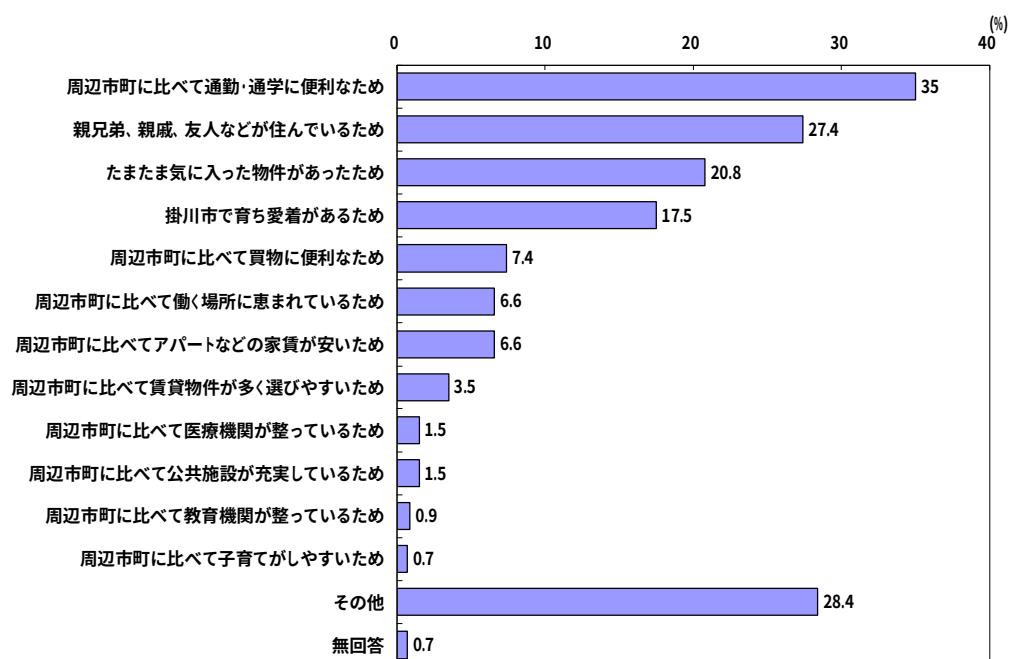
（５）世帯人数（問５）

世帯人数は、「２人」30.0%、「単身」28.7%などが上位を占めました。一方、「３人以上」は約４割を占めました。アパート系住民の世帯は、単身世帯、夫婦世帯、家族世帯（２世代以上世帯）などの多様性があることがうかがえました。



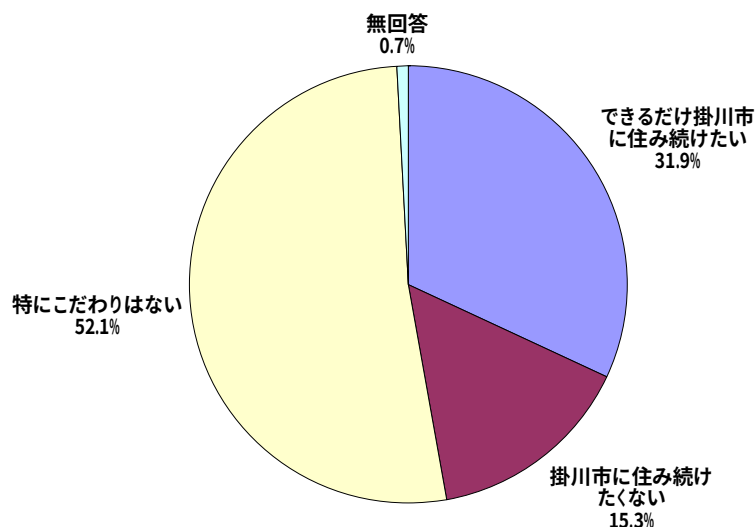
（６）住まい選択理由（問６）

掛川市に住まいを選んだ理由を尋ねたところ、「周辺市町に比べて通勤・通学に便利のため」35.0%、「親兄弟、親戚、友人などが住んでいるため」27.4%、「たまたま気に入った物件があったため」20.8%、「掛川市で育ち愛着があるため」17.5%などが上位を占めました。「通勤・通学に便利」という立地条件が住まい選択の最も有力な理由になっている一方、子育てのしやすさ、教育機関の充実、公共施設の充実、医療機関の充実などのまちづくり面に関しては、住まい選択の大きな理由になっていないことがうかがえました。



（７）住み続ける意向（問７）

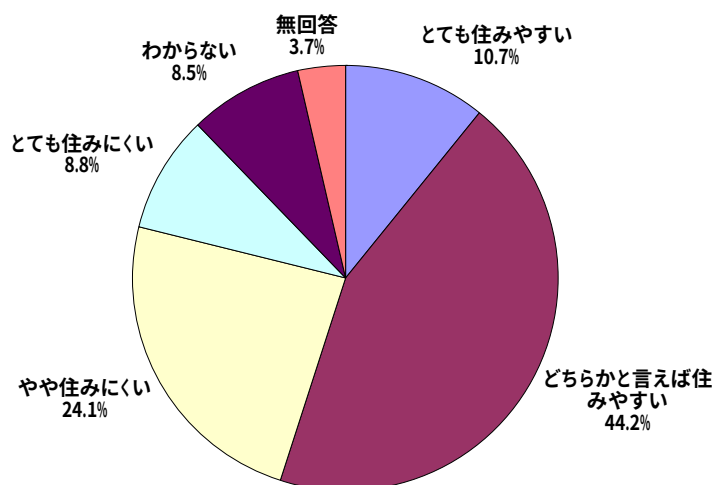
将来も掛川市に住み続ける意向を尋ねたところ、「特にこだわりはない」が52.1%と半数を占めました。一方、「できるだけ掛川市に住み続けたい」は31.9%、「掛川市に住み続けたくない」は15.3%でした。アパート系住民は、居住地に対してこだわりを持たない人が多いことがうかがえました。



（８）住みやすさ（問８）

掛川市の住みやすさを尋ねたところ、「どちらかと言えば住みやすい」44.2%、「とても住みやすい」10.7%と、肯定的回答が約5割を占めました。一方、「やや住みにくい」24.1%、「とても住みにくい」8.8%と、否定的回答は約3割でした。

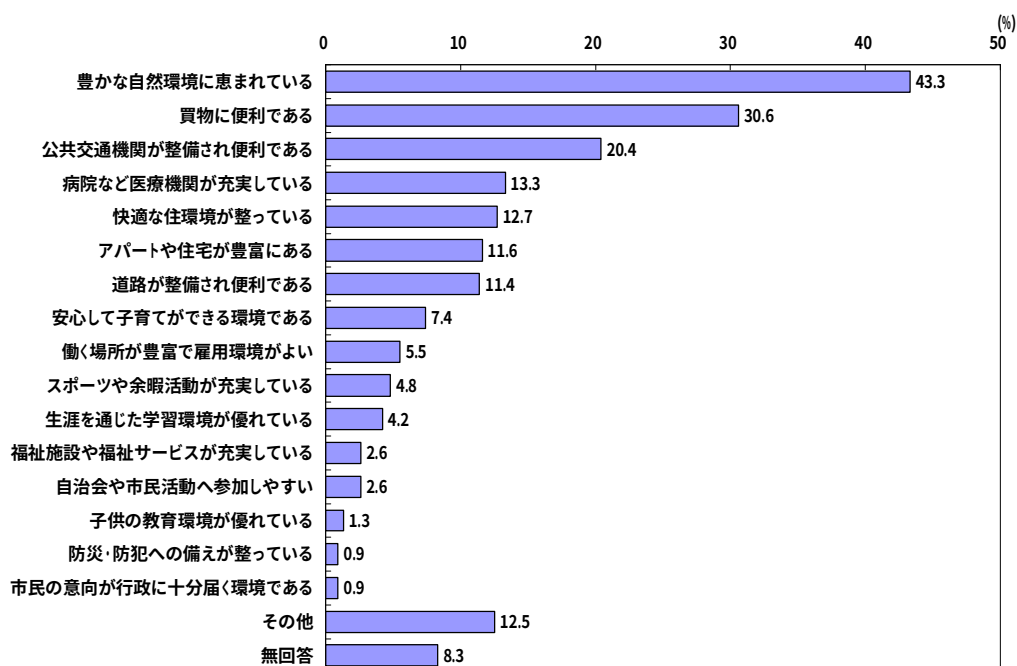
市民意識調査では「どちらかと言えば住みやすい」54.8%、「とても住みにくい」4.0%であったことと比較すると、アパート系住民は市民意識調査の回答者よりも、住みやすいと捉えている割合がやや低いことがうかがえました。



(9) 住みやすいと感じる点（問9）

掛川市が住みやすいと感じる点を尋ねたところ、「豊かな自然環境に恵まれている」43.3%、「買物に便利である」30.6%、「公共交通機関が整備され便利である」20.4%などが上位を占めました。

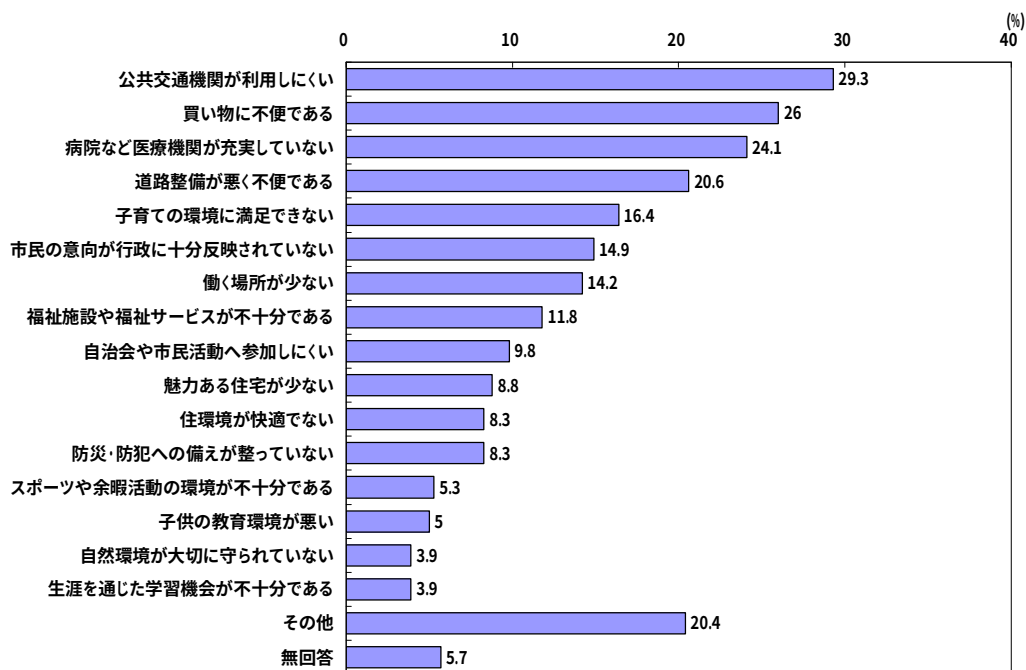
市民意識調査では「豊かな自然環境に恵まれている」59.4%、「買物に便利である」27.4%であり、上位2つの理由はアパート系住民と変わらないものの、「公共交通機関が整備され便利である」は13.0%であり差異が見られました。アパート系住民は、「西中学校区」「東中学校区」などの掛川駅周辺に居住している割合が高いことから、公共交通機関の利便性の割合が高くなったものと考えられます。



（１０）住みにくいと感じる点（問１０）

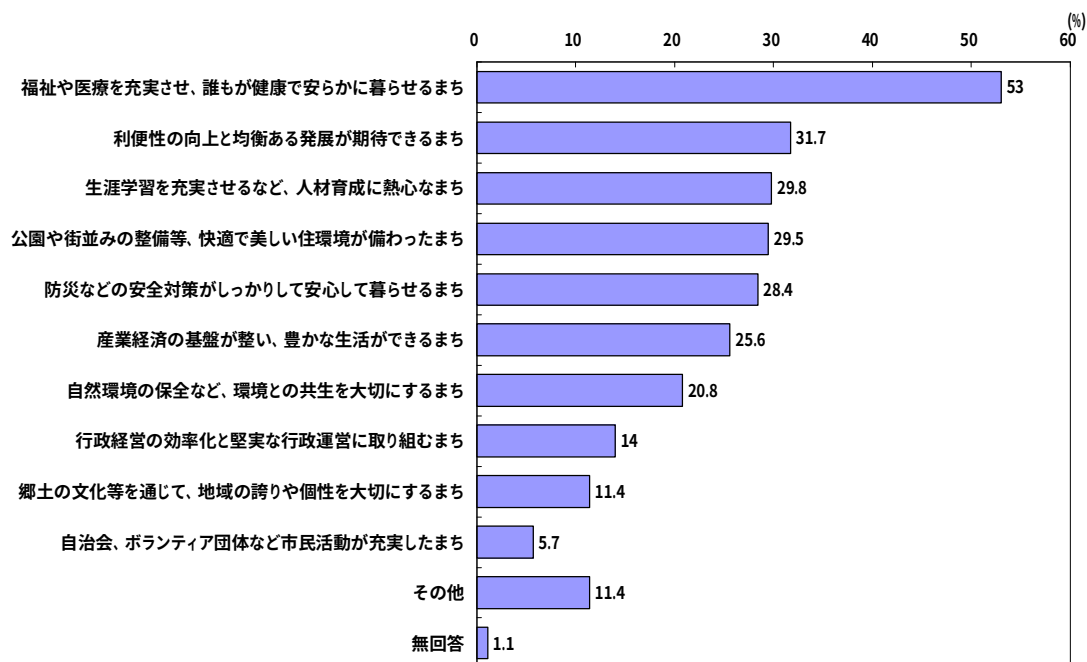
掛川市が住みにくいと感じる点を尋ねたところ、「公共交通機関が利用しにくい」29.3%、「買物に不便である」26.0%、「病院など医療機関が充実していない」24.1%、「道路整備が悪く不便である」20.6%などが上位でした。

市民意識調査と比較すると、「公共交通機関が利用しにくい」「病院など医療機関が充実していない」「道路整備が悪く不便である」の回答割合はアパート系住民が低く、要因別の住みにくさの割合は、市民意識調査の回答者よりも低い傾向がうかがえました。



（１１）掛川市が目指すべきまちづくり（問１１）

これからの掛川市が目指すべきまちづくりについて尋ねたところ、「福祉や医療を充実させ、誰もが健康で安らかに暮らせるまち」が 53.0%と他の選択肢を大きく引き離し、市民から支持されていることがうかがえました。次いで、「道路や交通機関を充実させ、利便性の向上と均衡ある発展が期待できるまち」31.7%、「子供の健全な成長や生涯学習を充実させるなど、人材育成に熱心なまち」29.8%などが上位であり、市民意識調査とほぼ同様の回答でした。

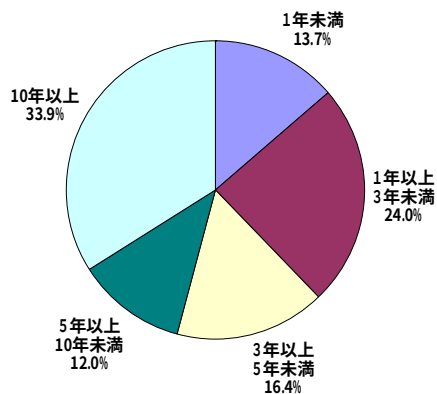


第4章 男女別クロス集計結果

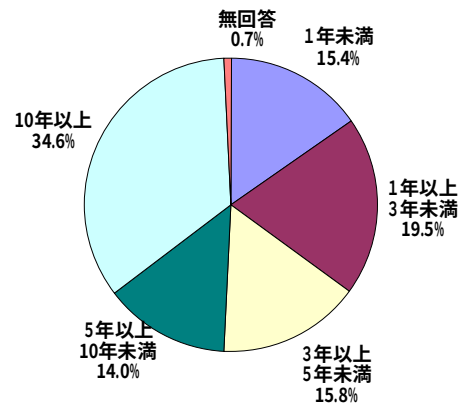
(1) 男女別－居住年数（問4）

「男性」の居住年数は、「1年以上3年未満」が24.0%と「女性」の19.5%を上回り、性別による差異が見られました。集合住宅への短期的居住は、「男性」の割合が「女性」を上回っていることがうかがえました。

【男性】



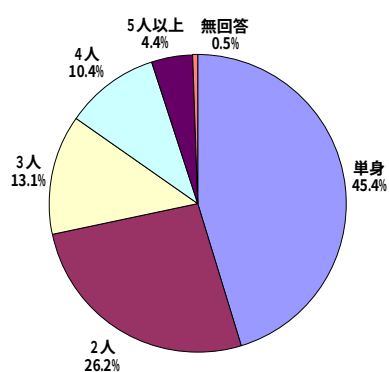
【女性】



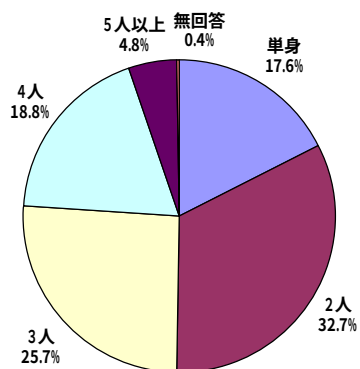
(2) 男女別－世帯人数（問5）

「男性」の世帯人数は、「単身」が45.4%と約5割を占め、一方、「女性」の世帯人数は、「2人」32.7%、「3人」25.7%、「4人」18.8%、「単身」17.6%でした。「男性」は「女性」に比べて単身世帯の割合が高いことがうかがえました。

【男性】



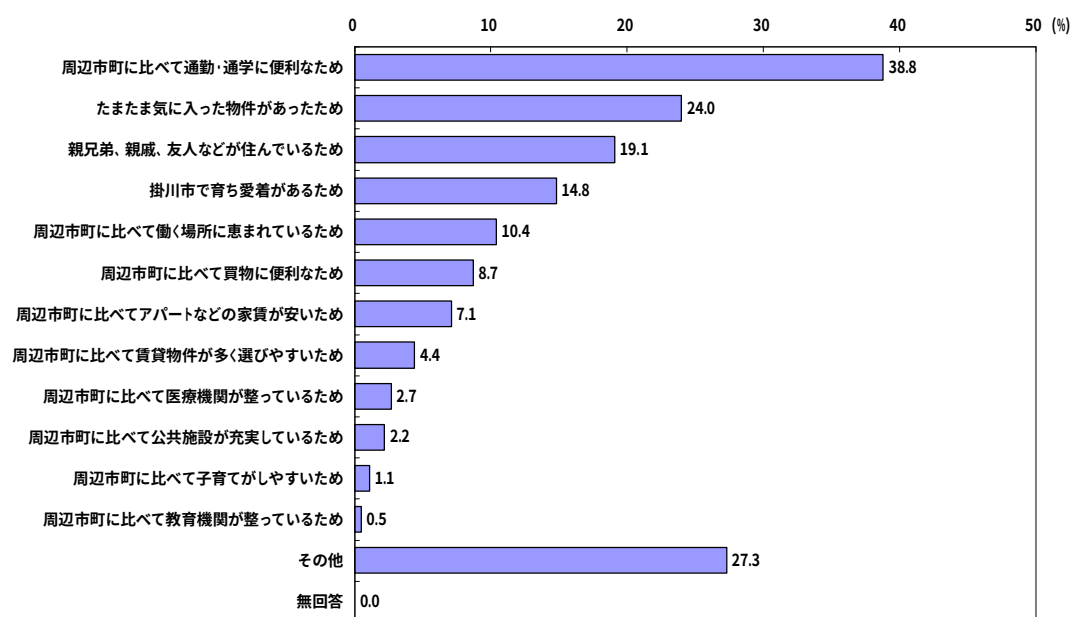
【女性】



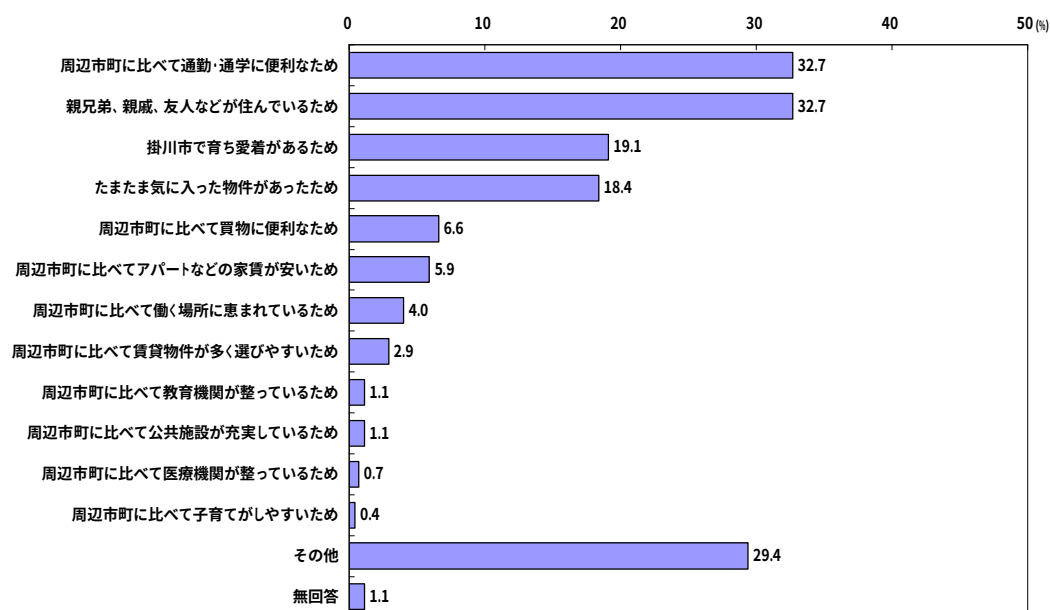
（３）男女別－住まい選択理由（問６）

掛川市に住まいを選んだ理由を尋ねたところ、「周辺市町に比べて通勤・通学に便利のため」は「男性」38.8%（「女性」32.7%）、「たまたま気に入った物件があったため」は「男性」24.0%（「女性」18.4%）と、「男性」の割合が「女性」を上回りました。一方、「親兄弟、親戚、友人などが住んでいるため」は「女性」32.7%（「男性」19.1%）と、「女性」の割合が「男性」を上回りました。「男性」は通勤・通学を重視し、「女性」は人的つながりを重視して住まいを選択していることがうかがえました。

【男性】



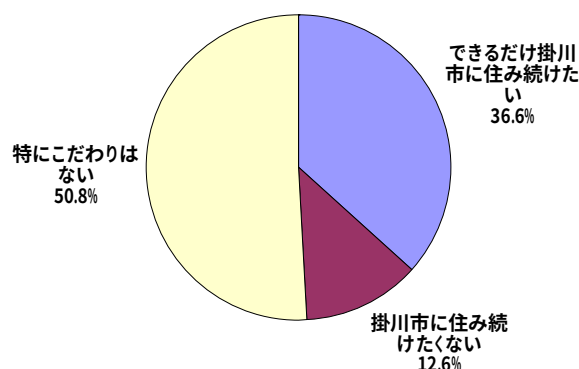
【女性】



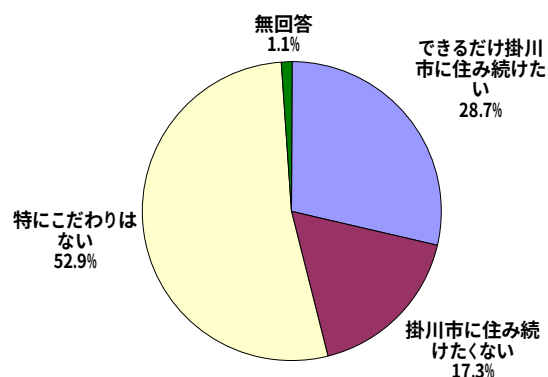
(4) 男女別－住み続ける意向（問7）

将来も掛川市に住み続ける意向を尋ねたところ、男女とも「特にこだわりはない」が5割を超え、居住地に対してこだわりを持たない人が多いことがうかがえました。しかし、「できるだけ掛川市に住み続けたい」は「男性」36.6%、「女性」28.7%と「男性」が上回り、「男性」は「女性」に比べて住み続ける意向が高いことがうかがえました。

【男性】



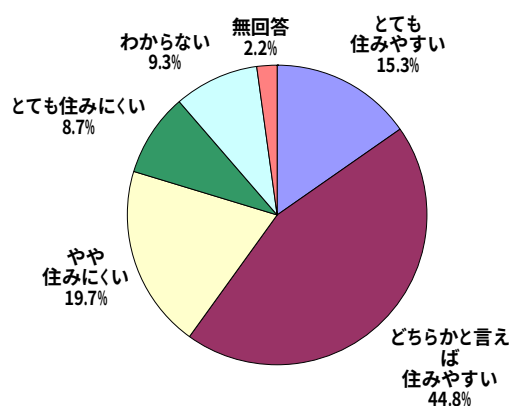
【女性】



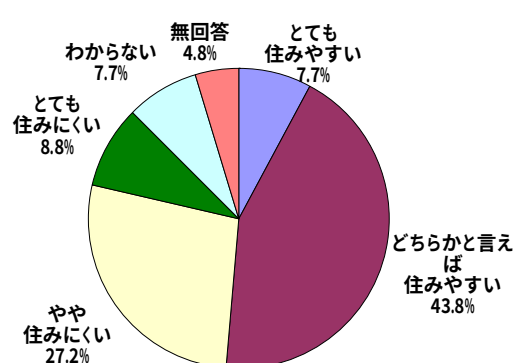
(5) 男女別－住みやすさ（問8）

掛川市の住みやすさを尋ねたところ、「どちらかと言えば住みやすい」は「男性」44.8%、「女性」43.8%とほぼ同様の割合でした。しかし、「やや住みにくい」は「男性」19.7%、「女性」27.2%と「女性」が「男性」を上回り、住みやすさに否定的回答は「女性」が高いことがうかがえました。

【男性】



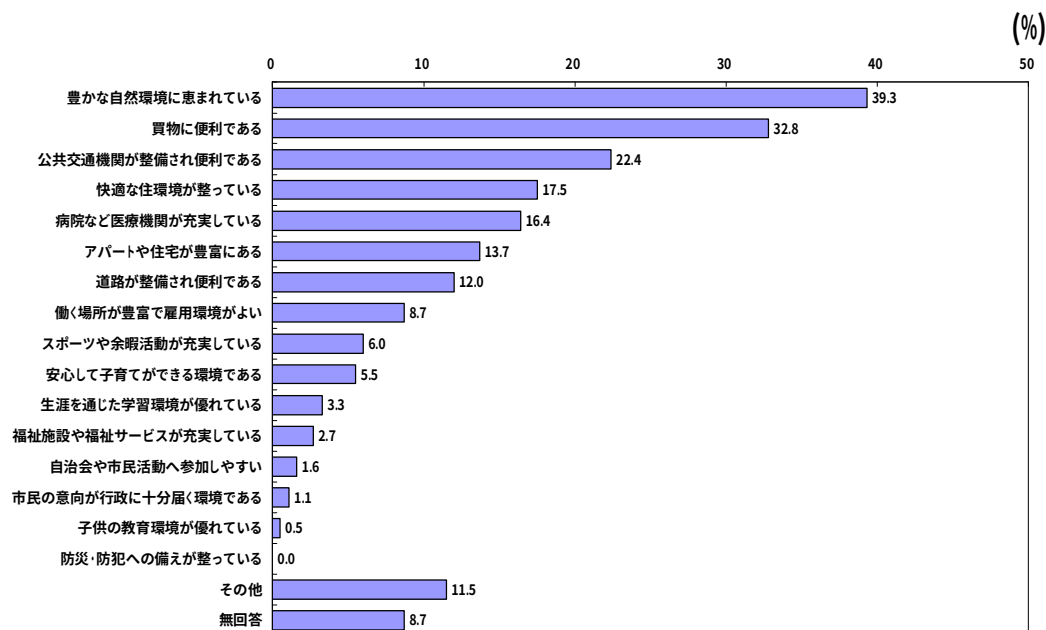
【女性】



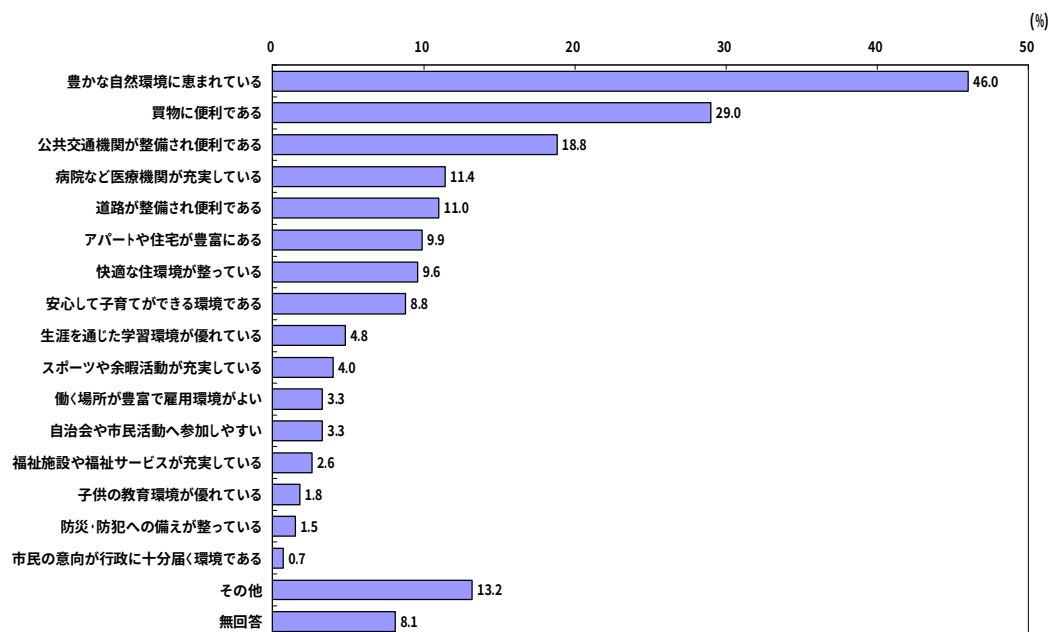
（６）男女別－住みやすいと感じる点（問９）

掛川市が住みやすいと感じる点を尋ねたところ、「豊かな自然環境に恵まれている」は「男性」39.3%、「女性」46.0%と、「女性」が自然環境をより高く評価していることがうかがえました。「買物に便利である」「公共交通機関が整備され便利である」は男女ほぼ同様の割合でしたが、「快適な住環境が整っている」は「男性」17.5%、「女性」9.6%と、「男性」は「女性」に比べて住環境をより高く評価していることがうかがえました。

【男性】



【女性】

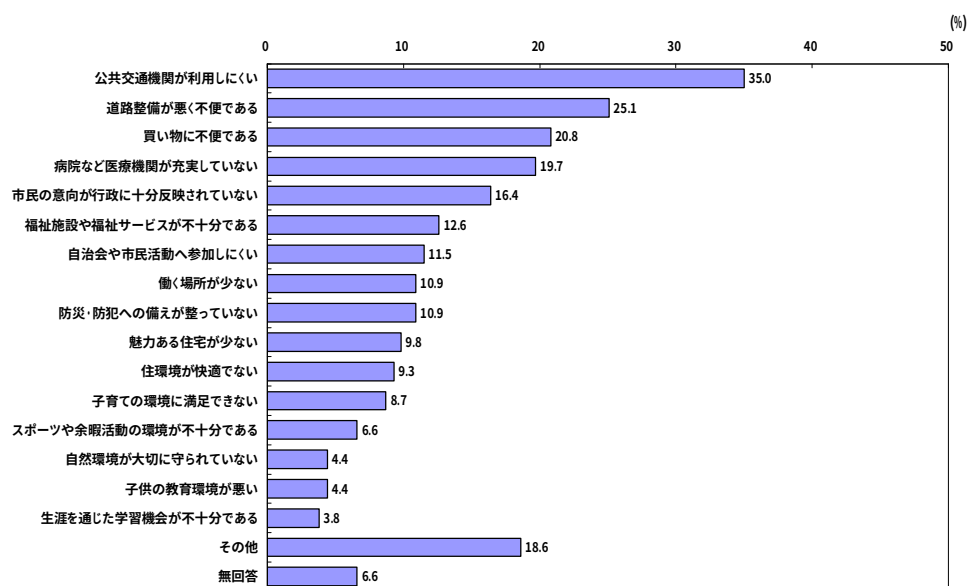


（７）男女別－住みにくいと感じる点（問１０）

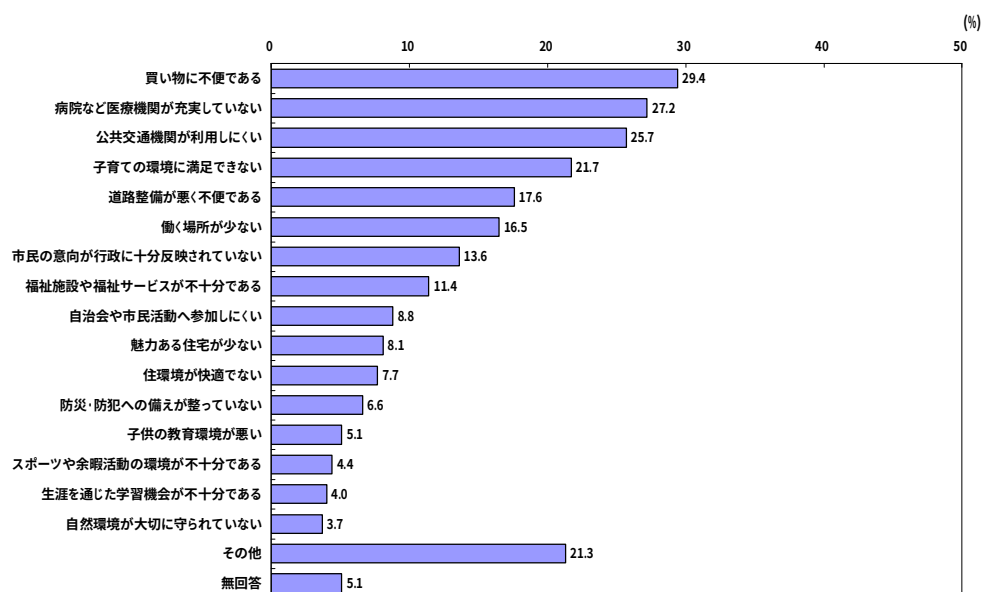
掛川市が住みにくいと感じる点を尋ねたところ、「男性」は「公共交通機関が利用しにくい」35.0%、「道路整備が悪く不便である」25.1%、「買物に不便である」20.8%、「病院など医療機関が充実していない」19.7%と、移動面の不便さを住みにくさの理由として指摘していることがうかがえました。

「女性」は、「買物に不便である」29.4%、「病院など医療機関が充実していない」27.2%、「公共交通機関が利用しにくい」25.7%、「子育ての環境に満足できない」21.7%と、買物の不便さや医療・子育て面の不満を住みにくさの理由としていることがうかがえました。

【男性】



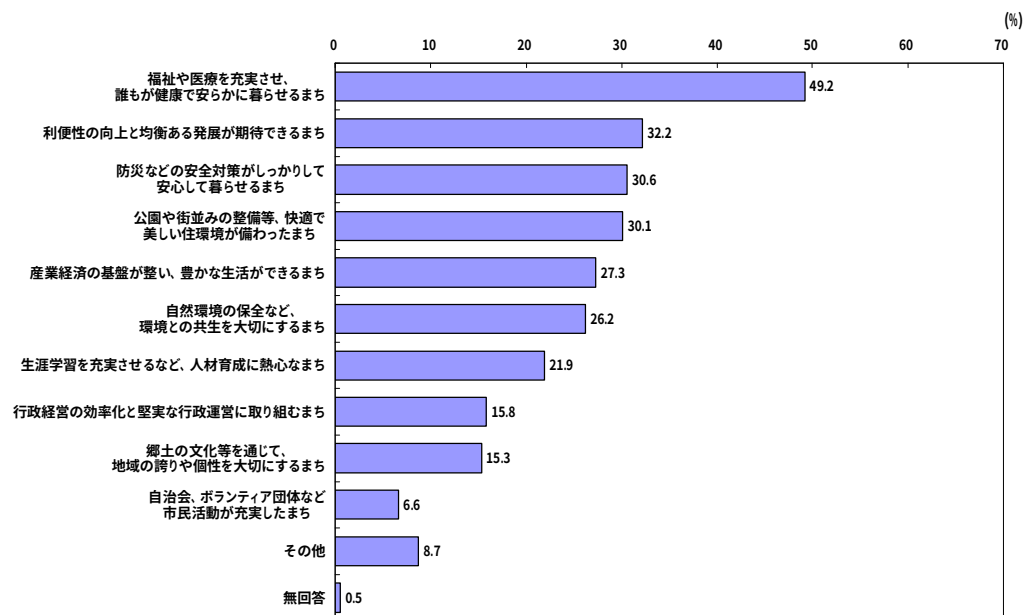
【女性】



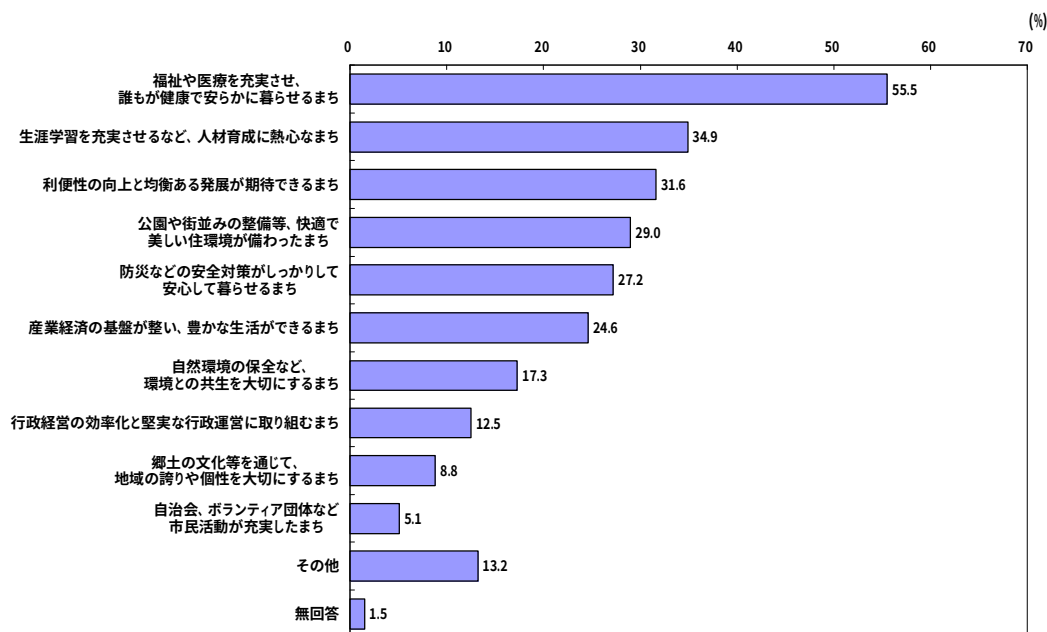
（８）男女別－掛川市が目指すべきまちづくり（問１１）

これからの掛川市が目指すべきまちづくりについて尋ねたところ、「福祉や医療を充実させ、誰もが健康で安らかに暮らせるまち」は男女とも約５割を占め、支持されていることがうかがえました。しかし、「子供の健全な成長や生涯学習を充実させるなど、人材育成に熱心なまち」は、「男性」21.9%、「女性」34.9%であり、「女性」は「男性」に比べて人材育成に熱心なまちを期待していることがうかがえました。

【男性】



【女性】

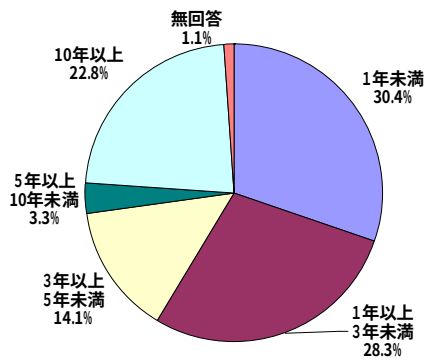


第5章 年齢別クロス集計結果

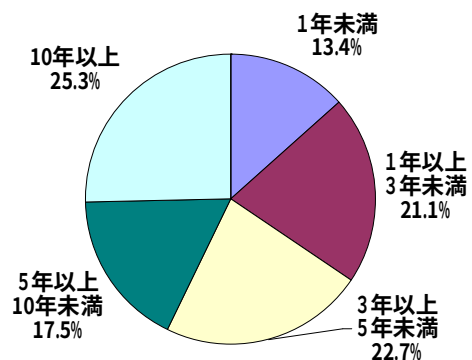
(1) 年齢別－居住年数（問4）

年齢別の居住年数は、「20 歳代」は3 年未満が約 6 割を占め、居住年数が短い傾向がうかがえました。一方、「10 年以上」の長期的居住は、「40 歳代」38.9%、「50 歳代」52.5%、「60 歳代」57.6%、「70 歳以上」75.0%であり、年齢の上昇に伴い長期的居住割合は高くなる傾向がうかがえました。

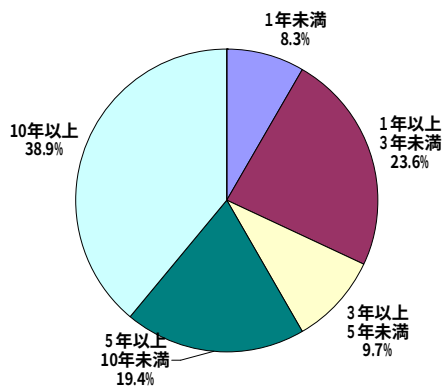
【20 歳代】



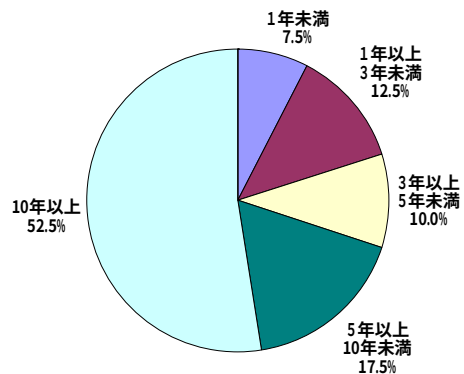
【30 歳代】



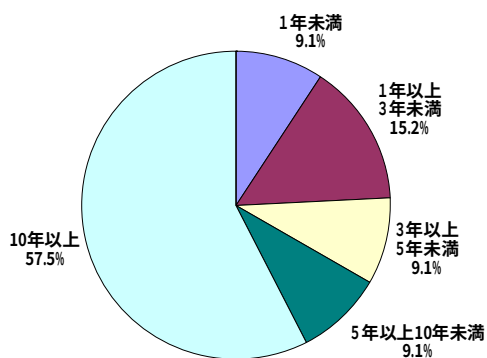
【40 歳代】



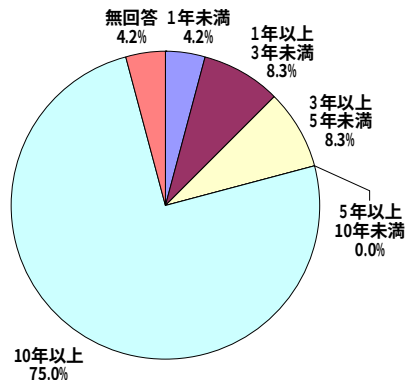
【50 歳代】



【60 歳代】



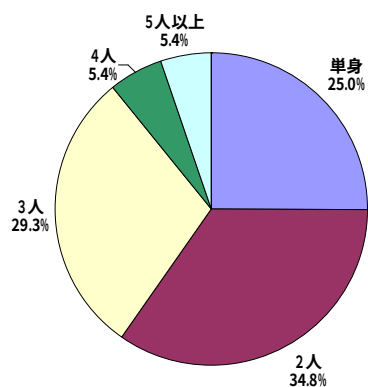
【70 歳以上】



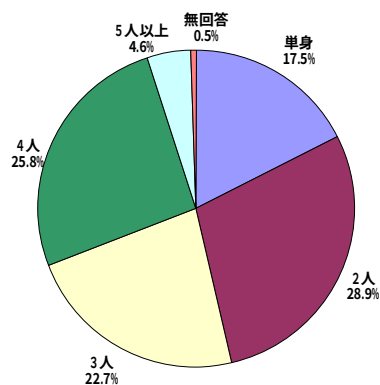
(2) 年齢別一世帯人数(問5)

年齢別の世帯人数は、「20 歳代」と「30 歳代」では「2 人」の割合が最も高い結果となりました。しかし、「単身」は、「40 歳代」31.9%、「50 歳代」40.0%、「60 歳代」57.6%、「70 歳以上」62.5%であり、年齢の上昇に伴い「単身」の割合は高くなる傾向がうかがえました。

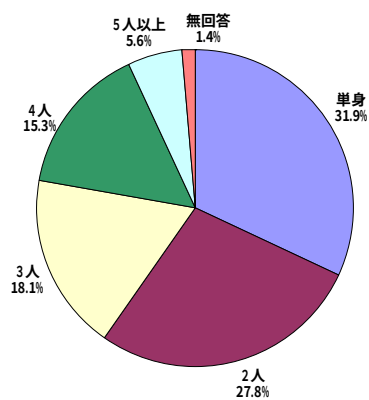
【20 歳代】



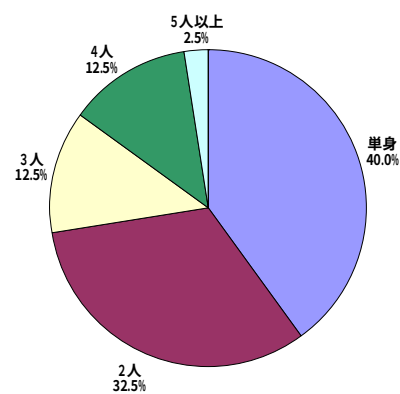
【30 歳代】



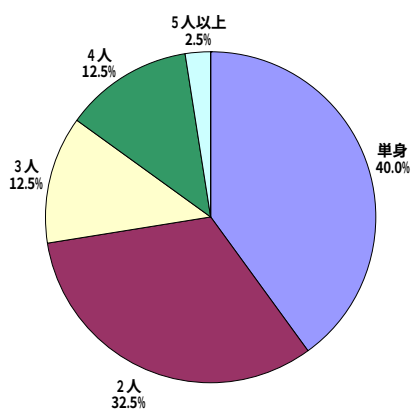
【40 歳代】



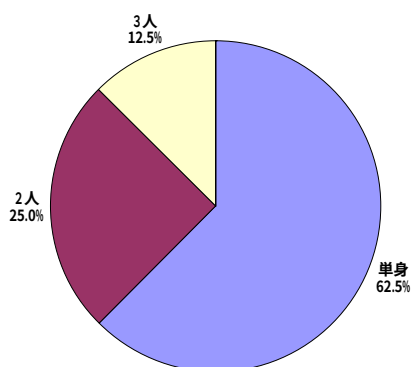
【50 歳代】



【60 歳代】



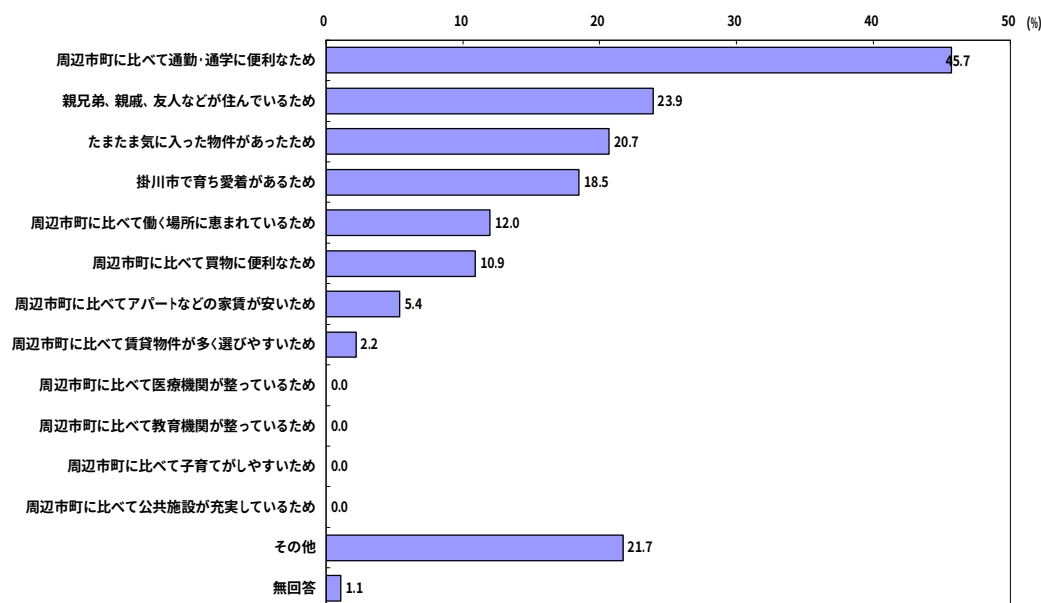
【70 歳以上】



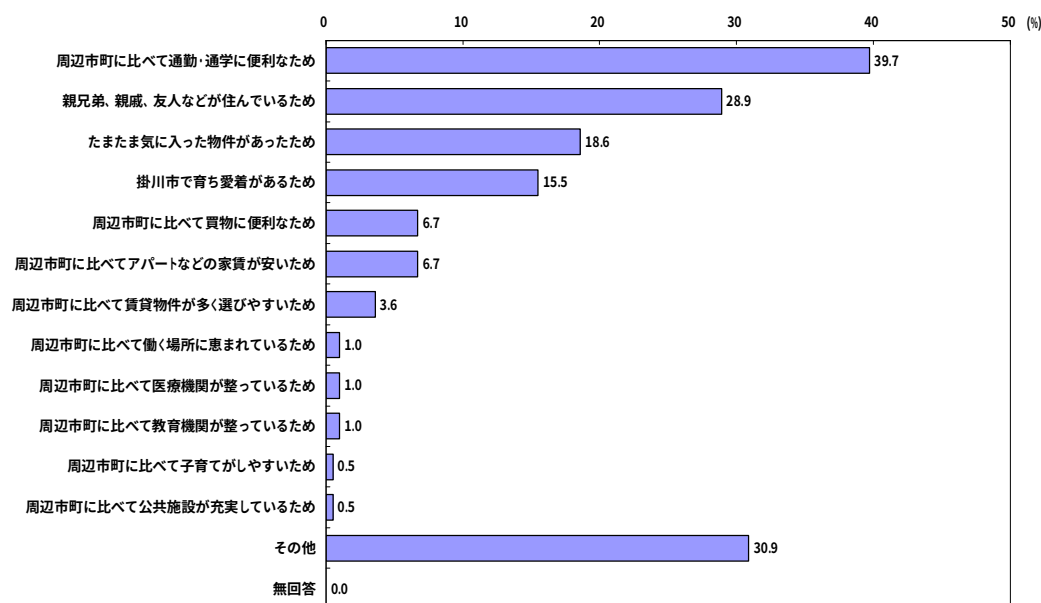
（３）年齢別－住まい選択理由（問６）

掛川市に住まいを選んだ理由を尋ねたところ、「20 歳代」と「30 歳代」では「周辺市町に比べて通勤・通学に便利のため」の割合が最も高く、通勤・通学の利便性を重視して住まいを選択していることがうかがえました。「60 歳代」と「70 歳以上」では「親兄弟、親戚、友人などが住んでいるため」「掛川市で育ち愛着があるため」の割合が高く、地縁を重視して住まいを選択していることがうかがえました。

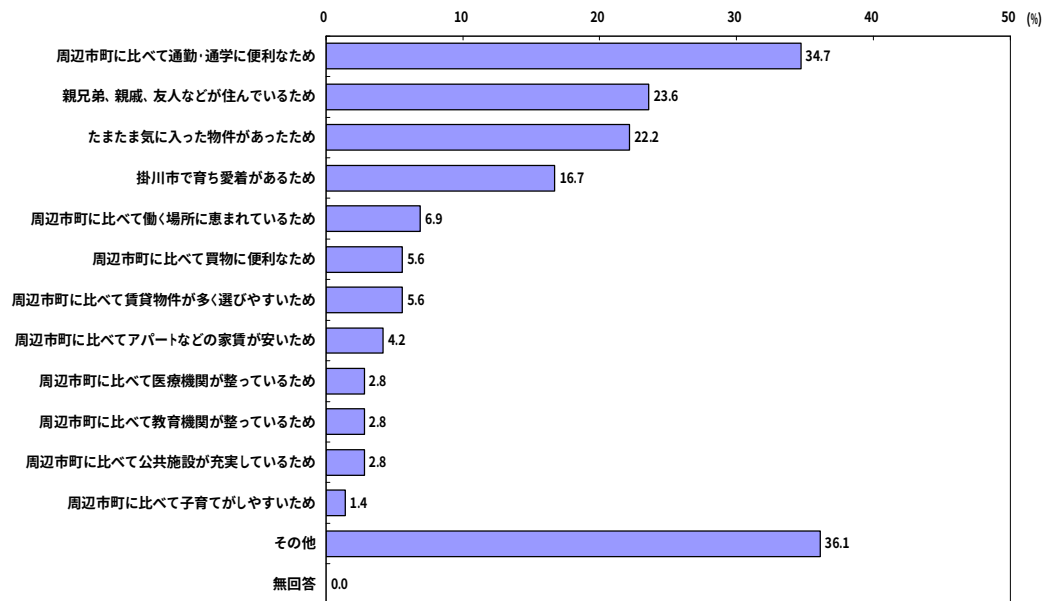
【20 歳代】



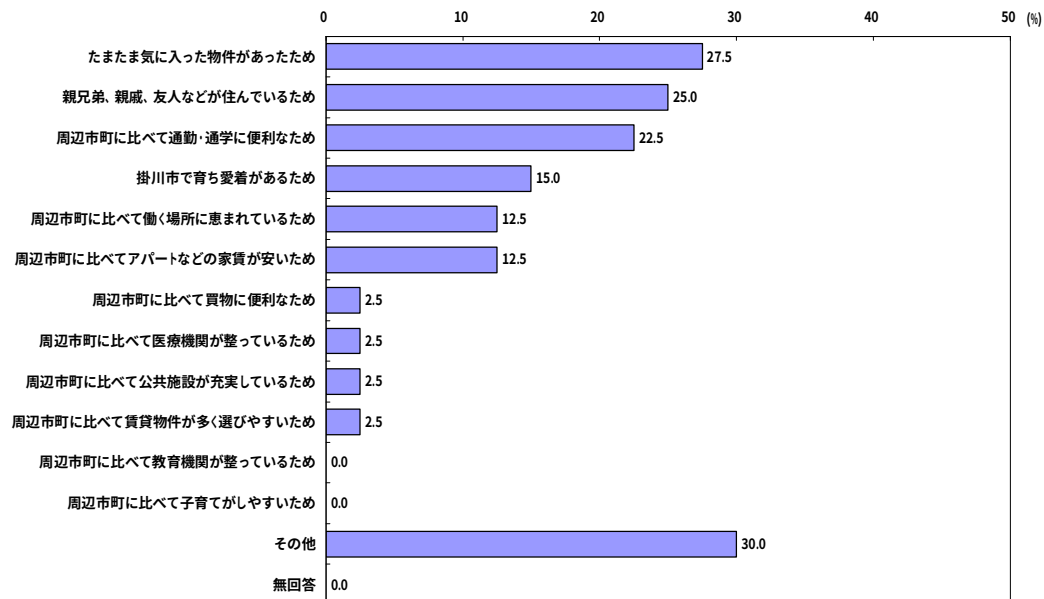
【30 歳代】



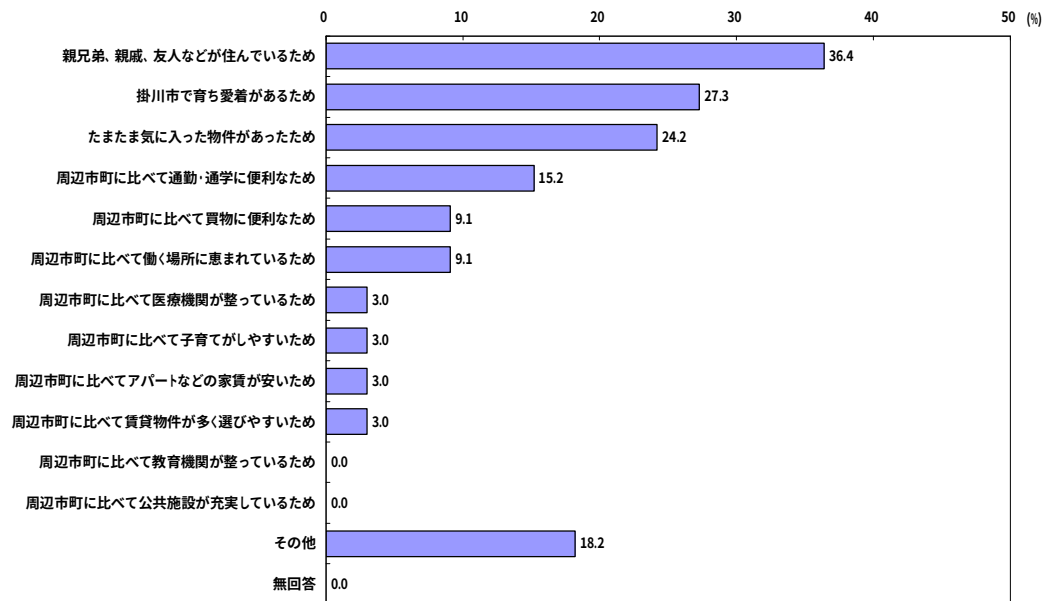
【40 歳代】



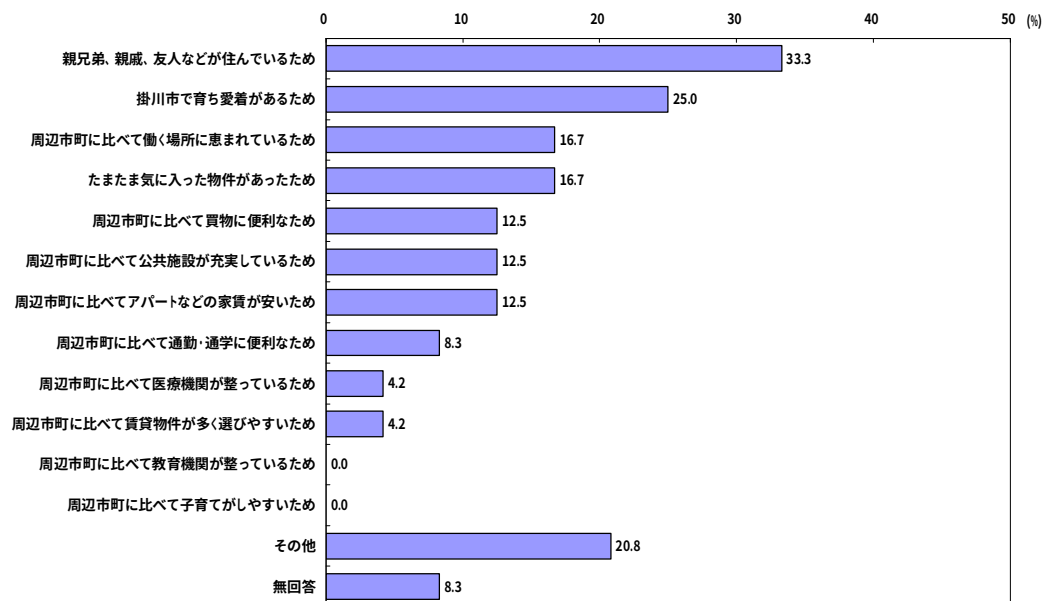
【50 歳代】



【60 歳代】



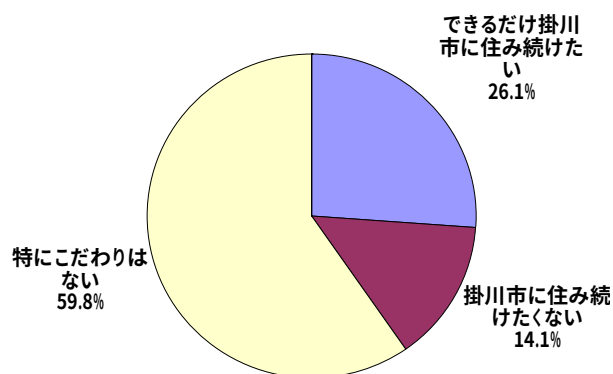
【70 歳以上】



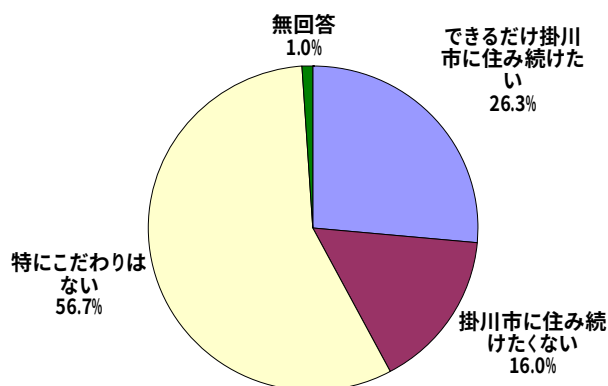
(4) 年齢別－住み続ける意向（問7）

将来も掛川市に住み続ける意向を尋ねたところ、「20 歳代」から「50 歳代」までは「特にこだわりはない」が 5 割を超え、居住地に対してこだわりを持たない人が多いことがうかがえました。しかし、「60 歳代」と「70 歳以上」では「できるだけ掛川市に住み続けたい」が 6 割を超え、住み続ける意向が高いことがうかがえました。

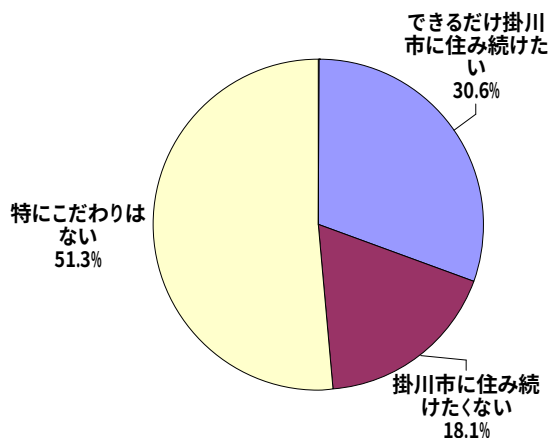
【20 歳代】



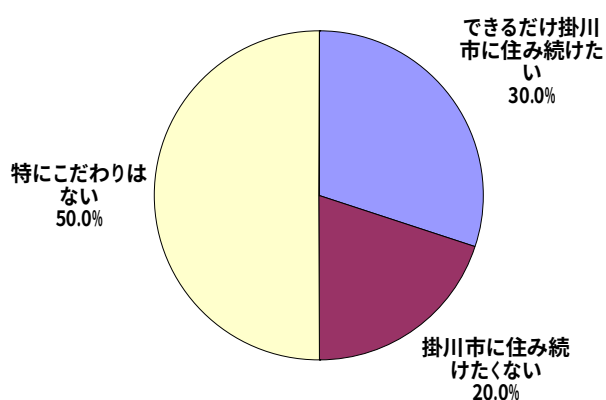
【30 歳代】



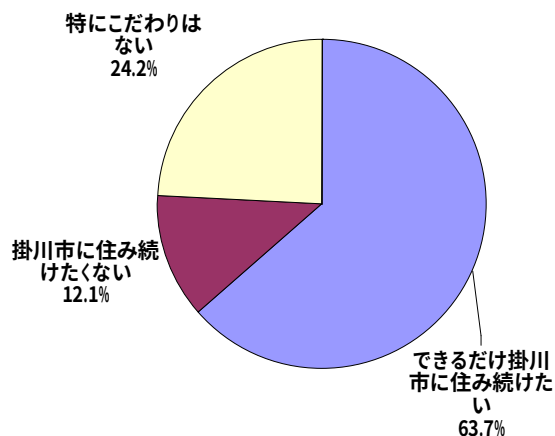
【40 歳代】



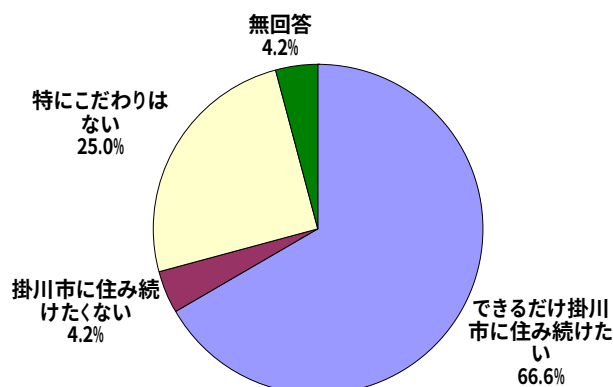
【50 歳代】



【60 歳代】



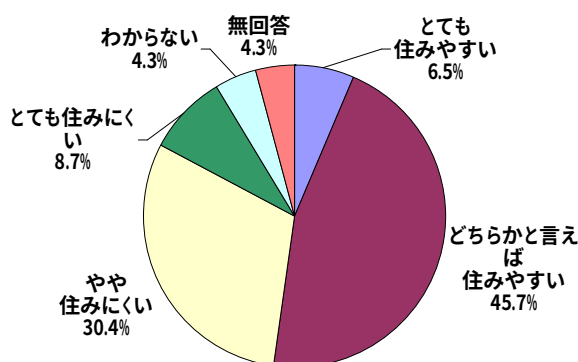
【70 歳以上】



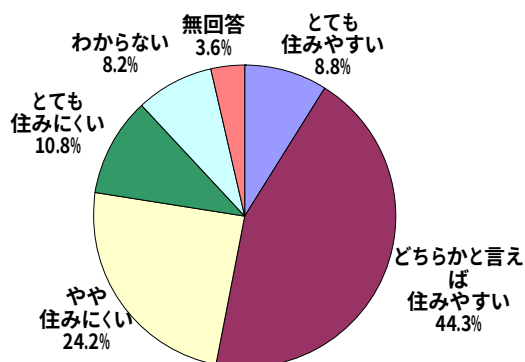
（５）年齢別－住みやすさ（問８）

掛川市の住みやすさを尋ねたところ、「とても住みやすい」と「どちらかと言えば住みやすい」を合わせた肯定的回答は、「50 歳代」以外の年代では 5 割以上を占めました。特に「60 歳代」と「70 歳以上」は約 7 割が肯定的回答であり、高齢者層は住みやすいと感じている割合が高いことがうかがえました。「50 歳代」は肯定的回答が約 4 割、否定的回答が約 4 割と住みやすさへの評価が分かれており、年代別では住みにくいと感じている割合が高いことがうかがえました。

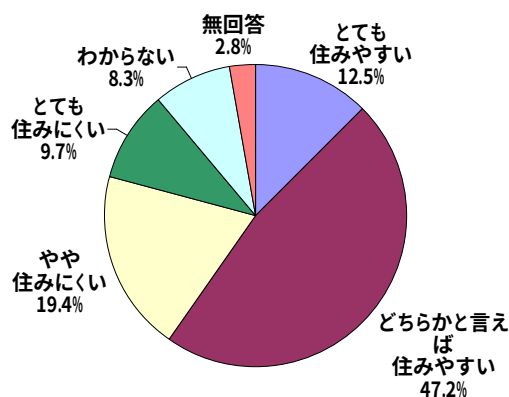
【20 歳代】



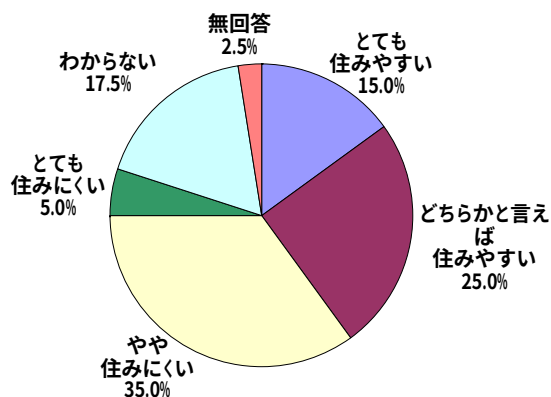
【30 歳代】



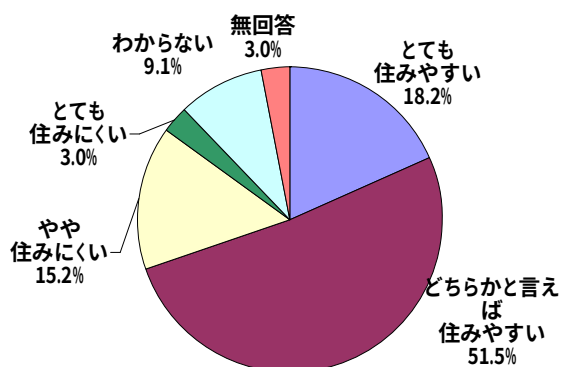
【40 歳代】



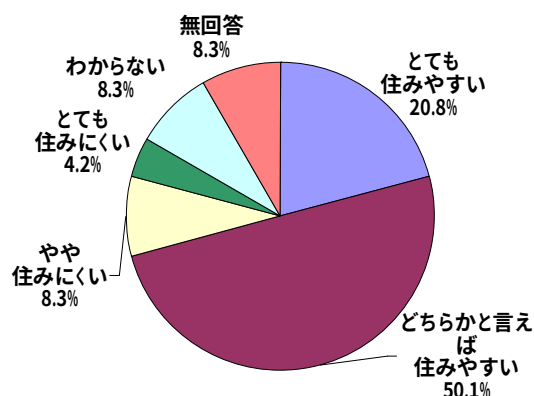
【50 歳代】



【60 歳代】



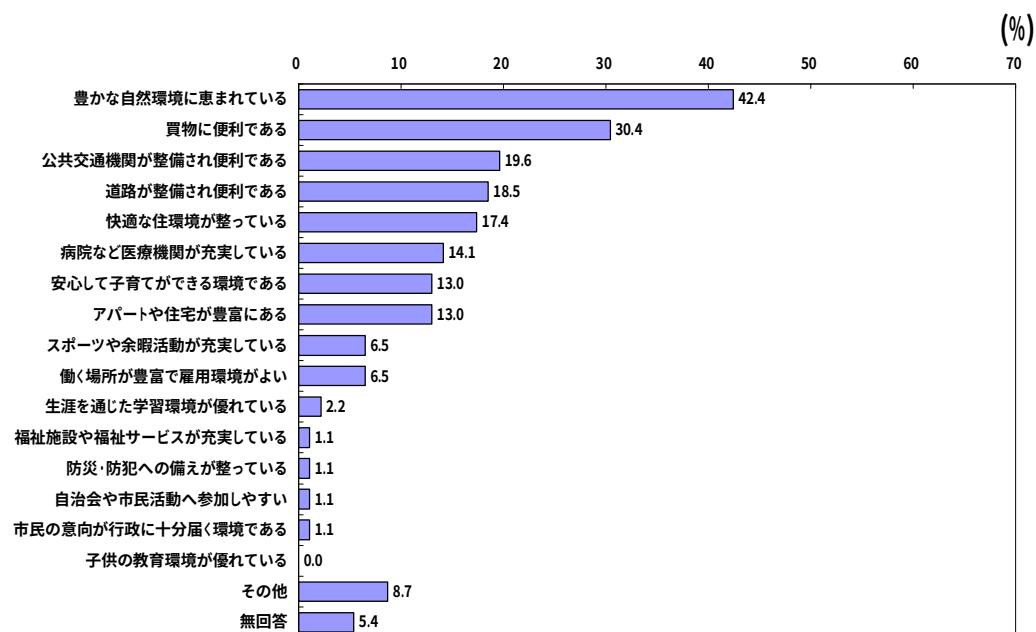
【70 歳以上】



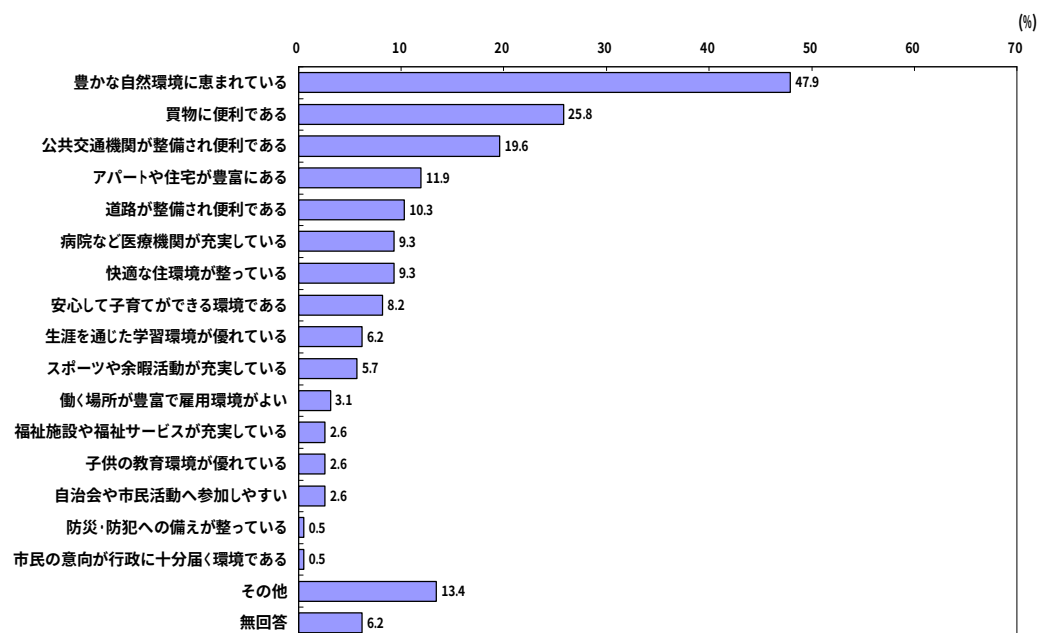
（６）年齢別－住みやすいと感じる点（問９）

掛川市が住みやすいと感じる点を尋ねたところ、「豊かな自然環境に恵まれている」は「40 歳代」を除く各年代で最も割合が高く、概ね各年代とも豊かな自然環境を住みやすさの理由として評価していることがうかがえました。次いで、「買物に便利である」「公共交通機関が整備され便利である」も各年代から高く評価されていますが、「70 歳以上」は「公共交通機関が整備され便利である」は 8.3%と低い評価でした。

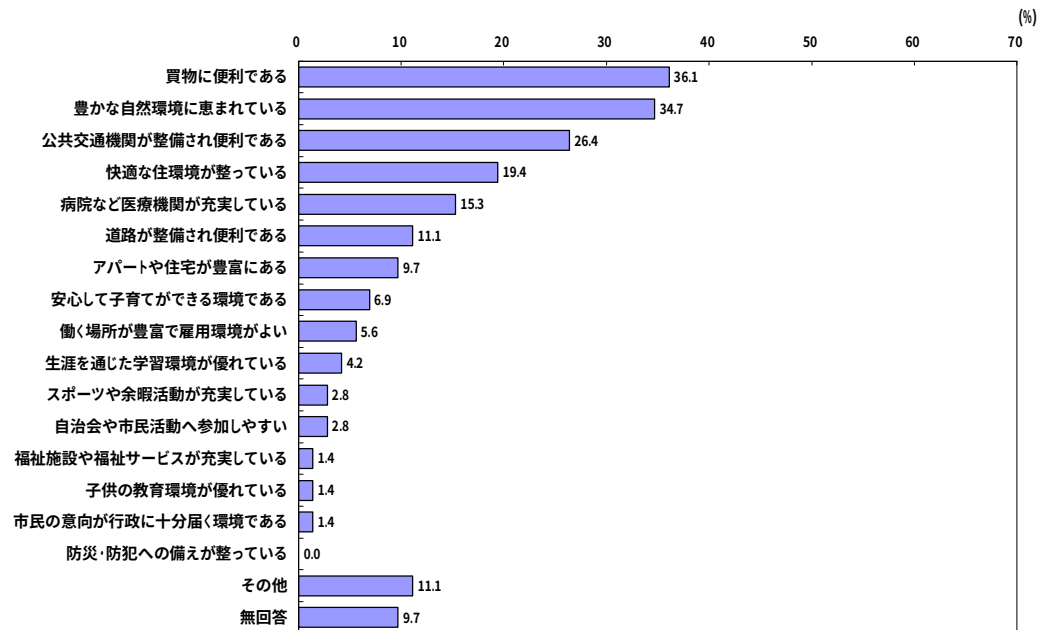
【20 歳代】



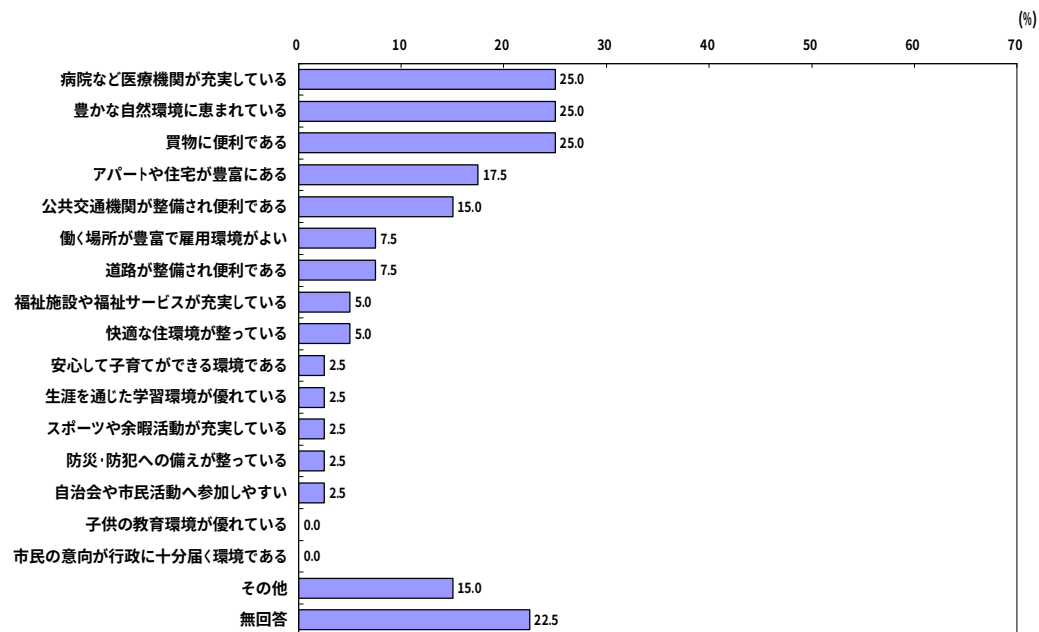
【30 歳代】



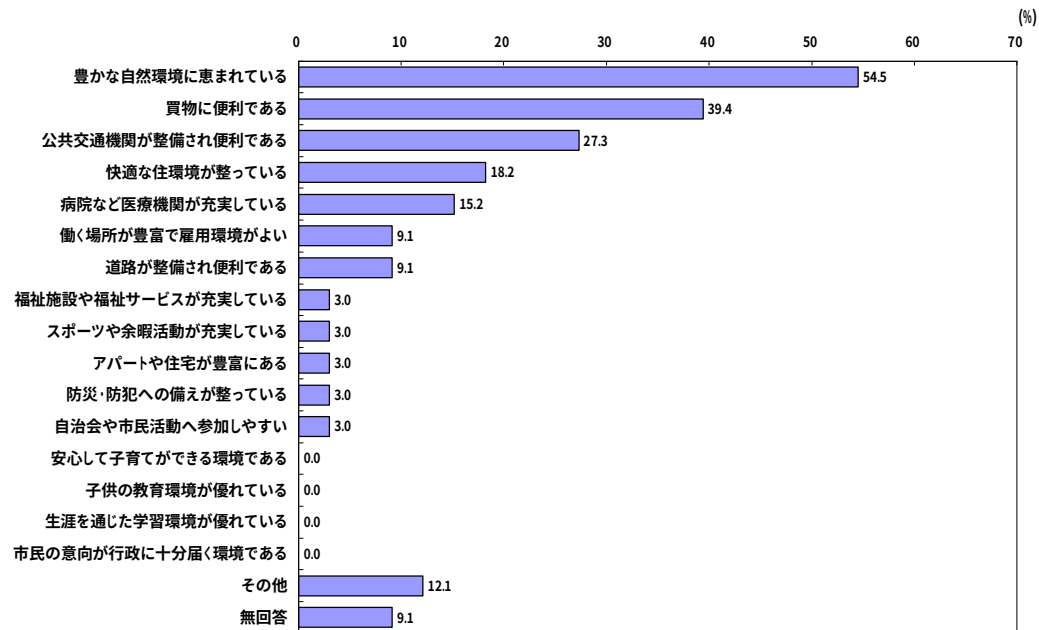
【40 歳代】



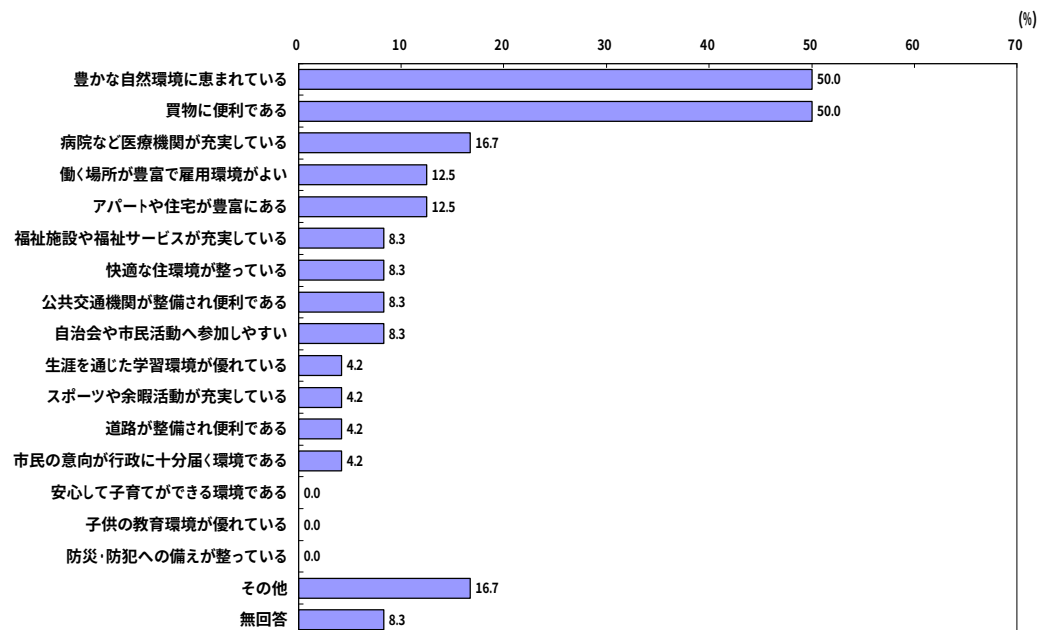
【50 歳代】



【60 歳代】



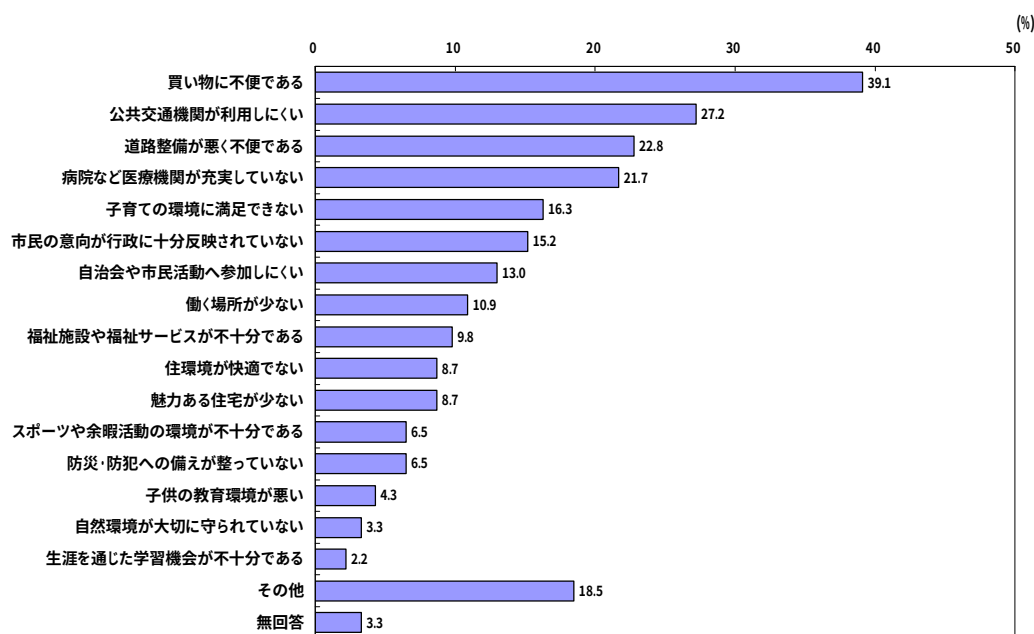
【70 歳以上】



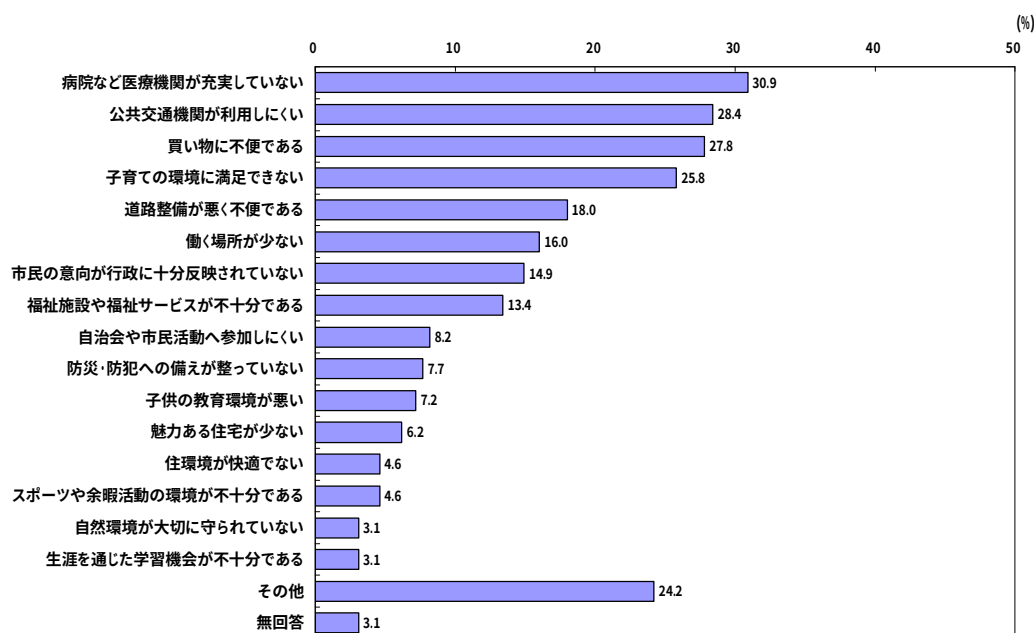
（７）年齢別－住みにくいと感じる点（問１０）

掛川市が住みにくいとを感じる点を尋ねたところ、「公共交通機関が利用しにくい」は各年代とも割合が高く、中でも「40 歳代」と「50 歳代」の割合が高い結果となりました。「買物に不便である」は「20 歳代」が 39.1%と他の年代を大きく上回り、若者向けの買物には不便であることがうかがえました。また、「病院など医療機関が充実していない」は「30 歳代」が 30.9%と最も高く、子育て世代が住みにくいとを感じる点は、医療面が最も高い結果となりました。

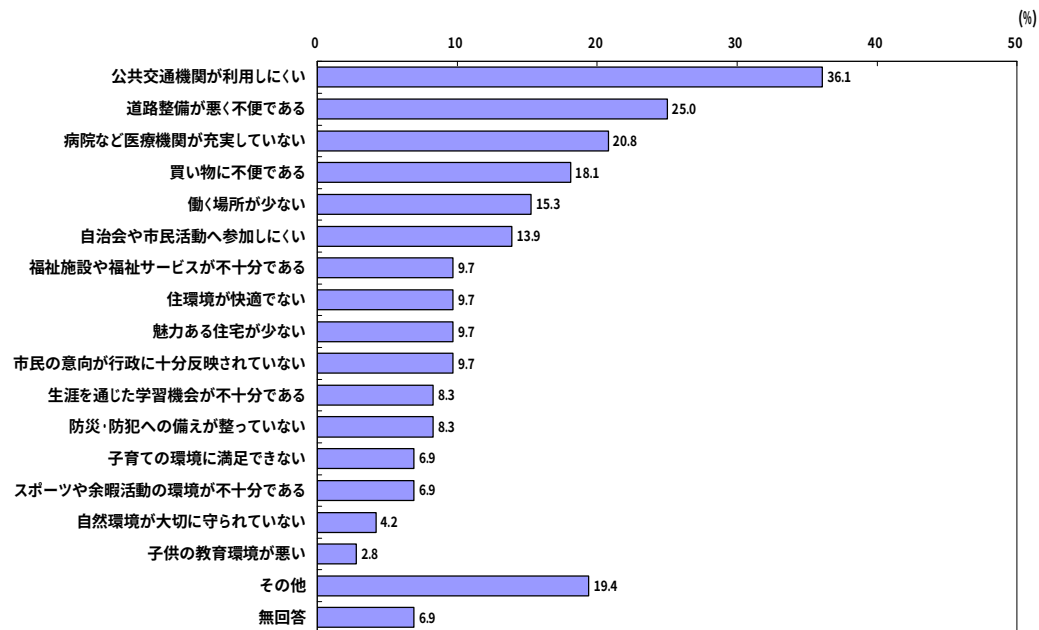
【20 歳代】



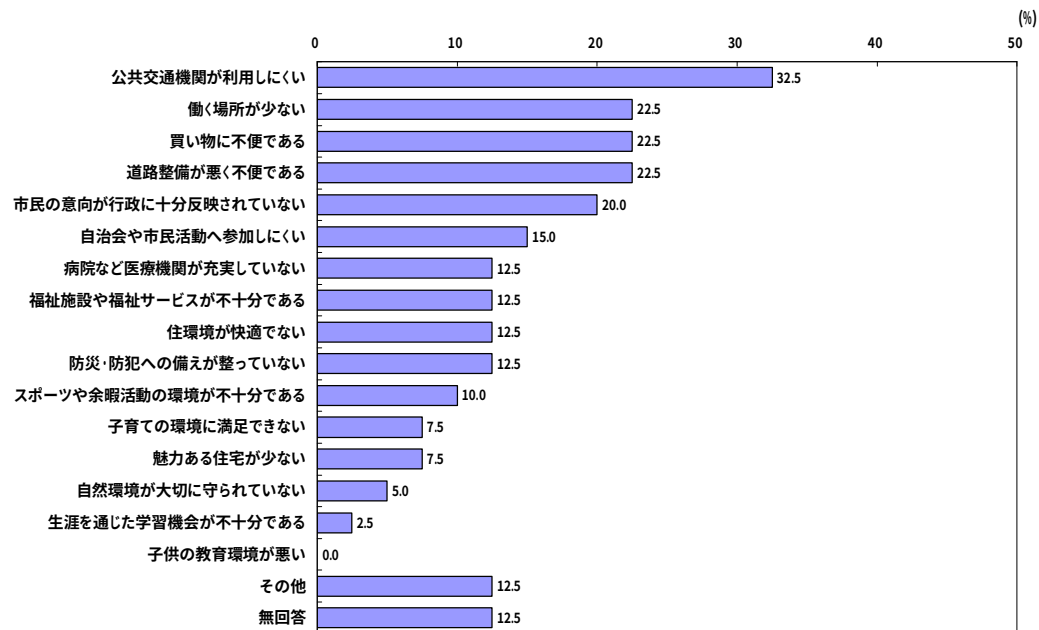
【30 歳代】



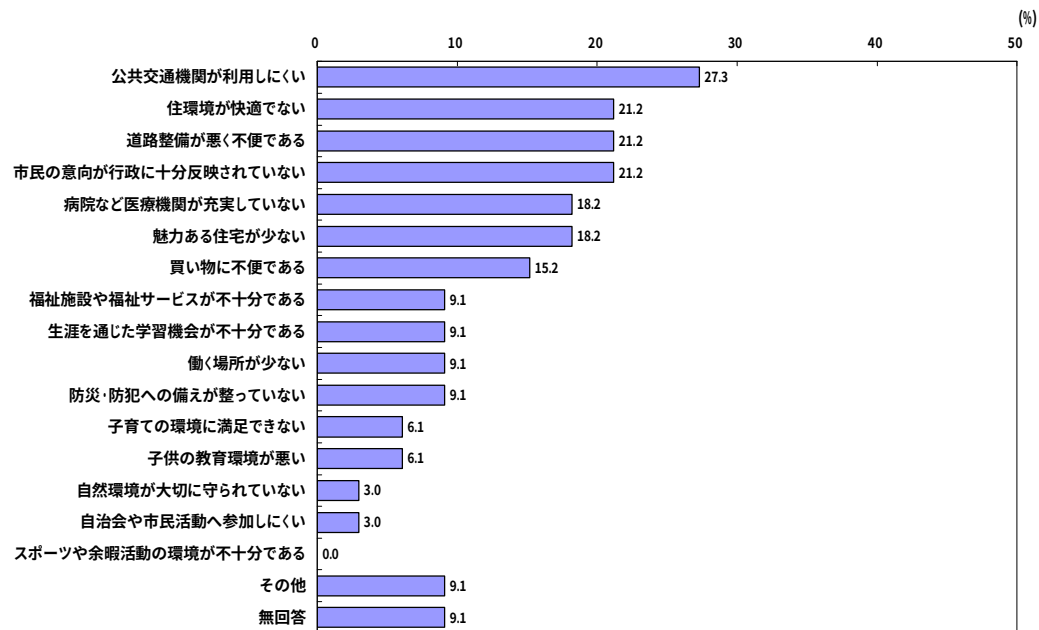
【40 歳代】



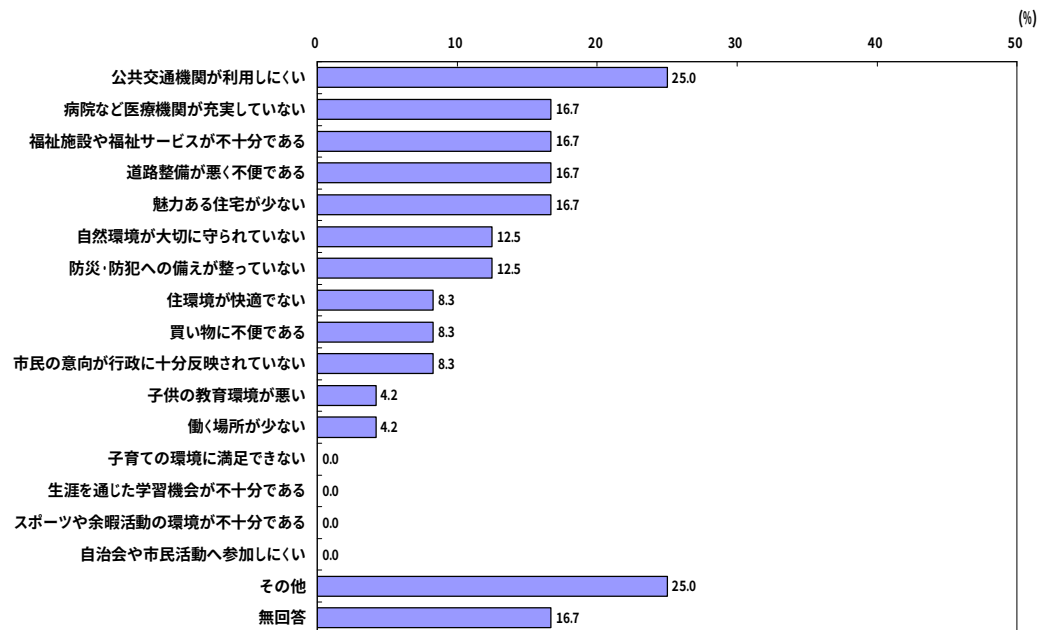
【50 歳代】



【60 歳代】



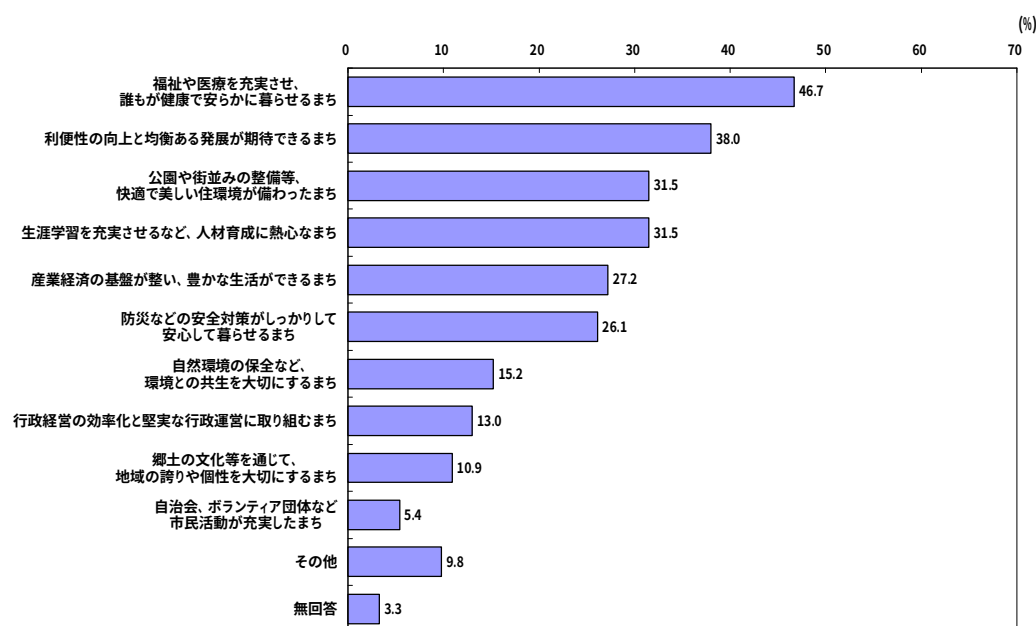
【70 歳以上】



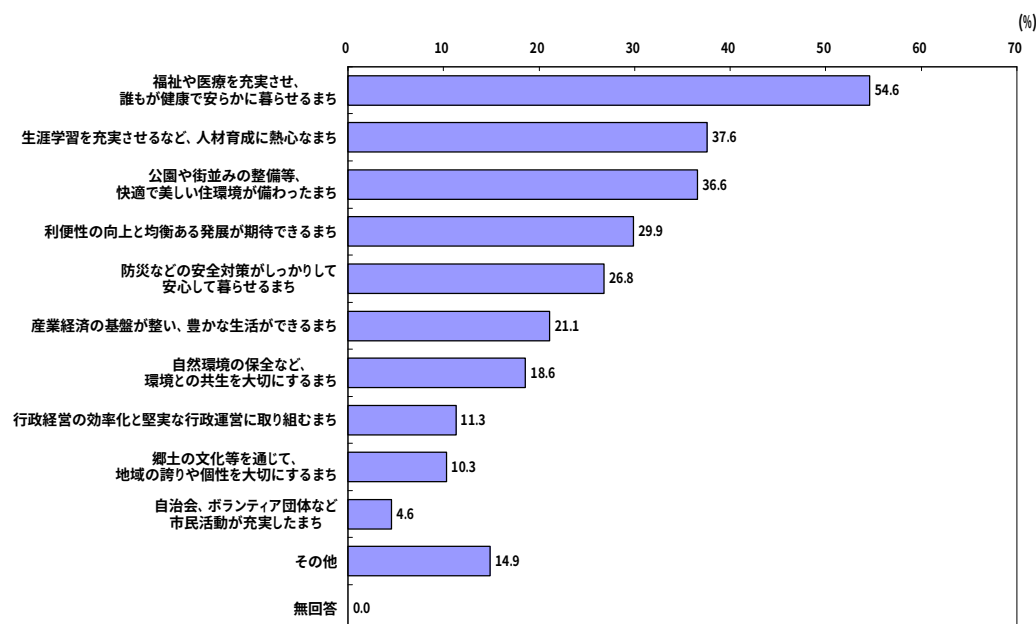
（８）年齢別－掛川市が目指すべきまちづくり（問１１）

これからの掛川市が目指すべきまちづくりについて尋ねたところ、「福祉や医療を充実させ、誰もが健康で安らかに暮らせるまち」は各年代とも割合が最も高く、支持されていることがうかがえました。「利便性の向上と均衡ある発展が期待できるまち」は「20 歳代」、「40 歳代」での割合が高く、「子供の健全な成長や生涯学習を充実させるなど、人材育成に熱心なまち」は「30 歳代」での割合が高いなど、福祉医療面に次ぐ「目指すべきまちづくり」は、年代によって差異が見られました。

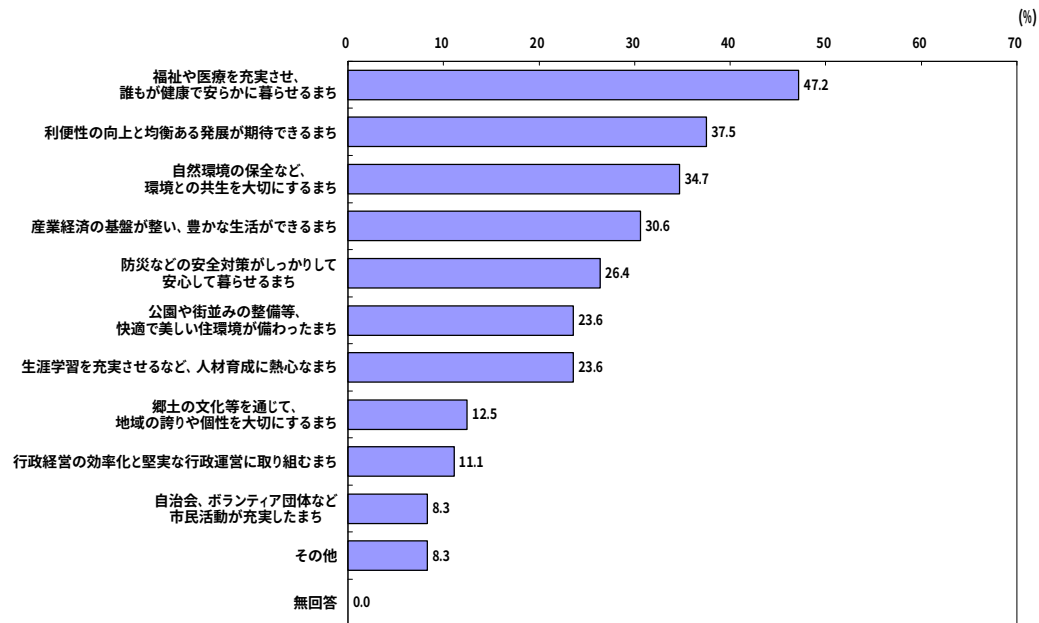
【20 歳代】



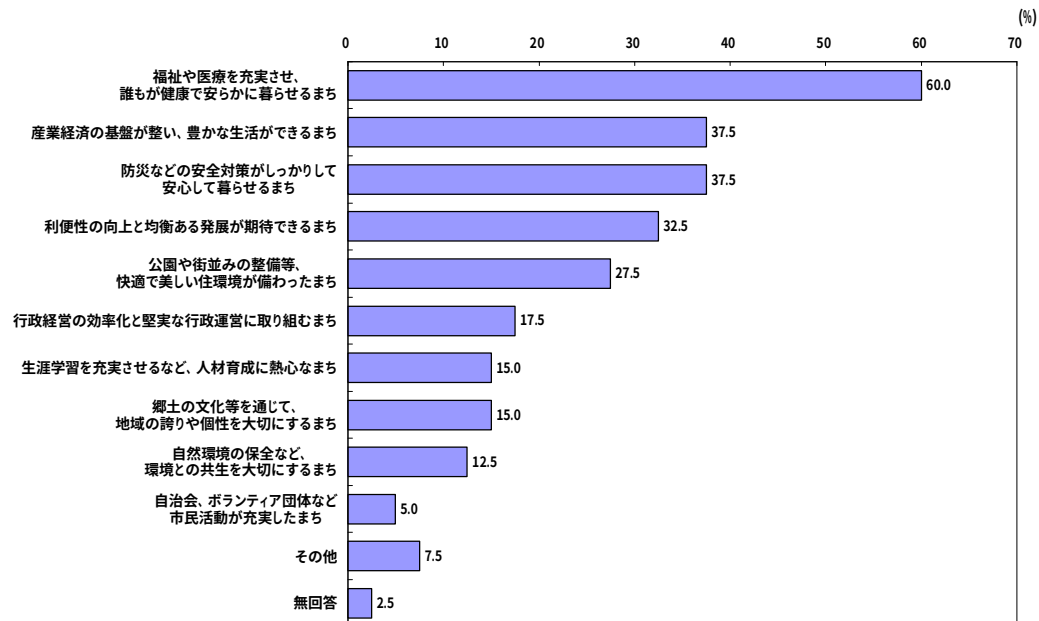
【30 歳代】



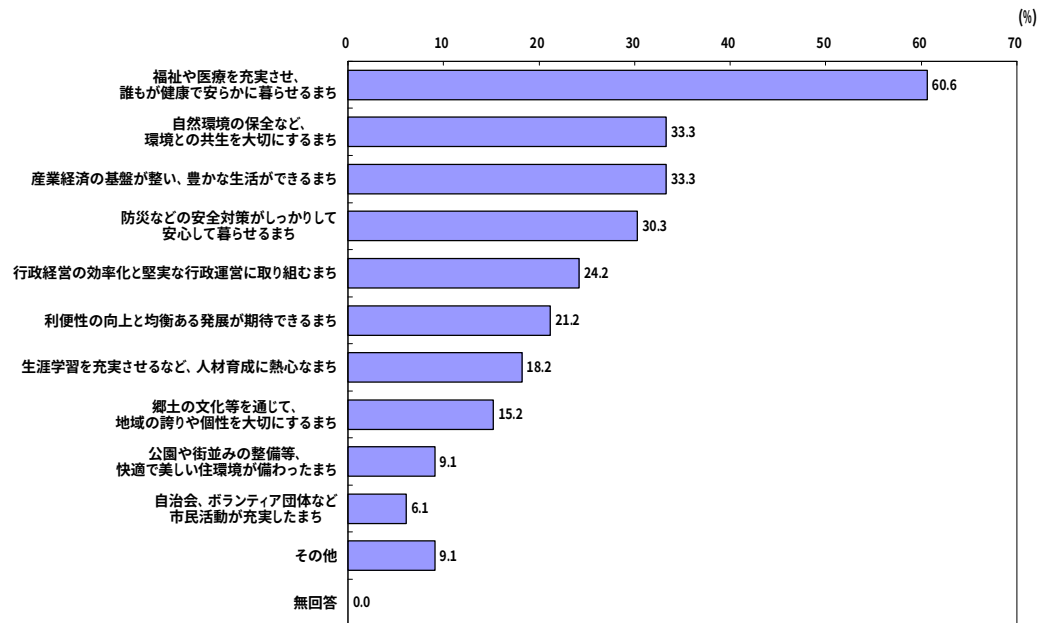
【40 歳代】



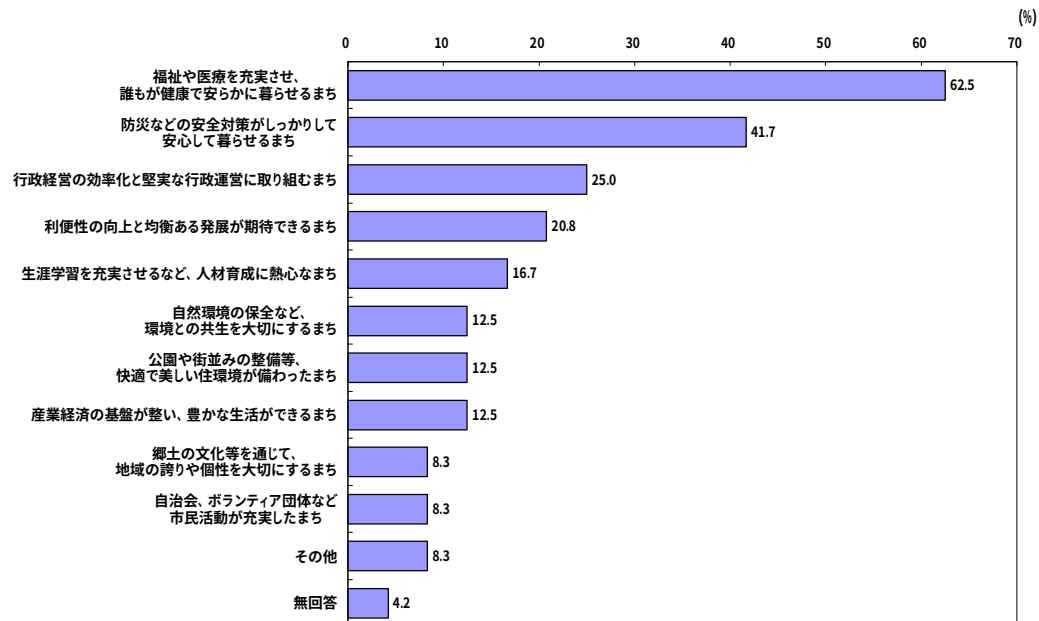
【50 歳代】



【60 歳代】



【70 歳以上】

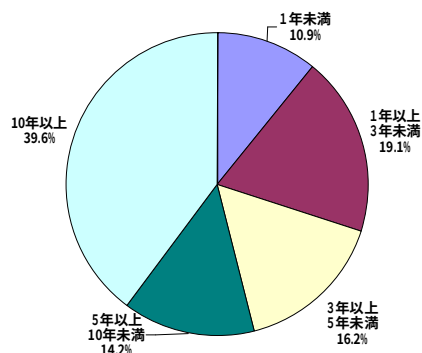


第6章 地域別クロス集計結果

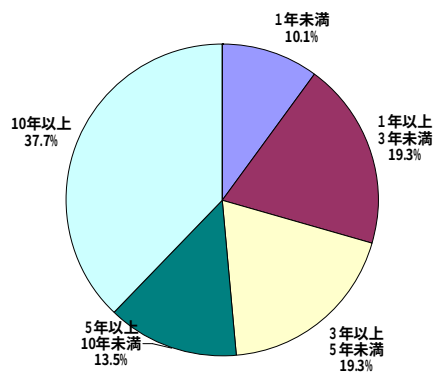
(1) 地域別－居住年数（問4）

居住年数「10年以上」は、「旧掛川市」39.6%、「旧大須賀町」34.1%、「旧大東町」32.7%であり、長期的居住の割合は「旧掛川市」が最も高く、「旧掛川市」の中でも「東・西中学校区以外」では43.8%と「東・西中学校区」の37.7%を上回りました。「旧大東町」では「5年以上10年未満」の割合が、「旧大須賀町」では「3年以上5年未満」の割合が他地域に比べ高い結果となりました。

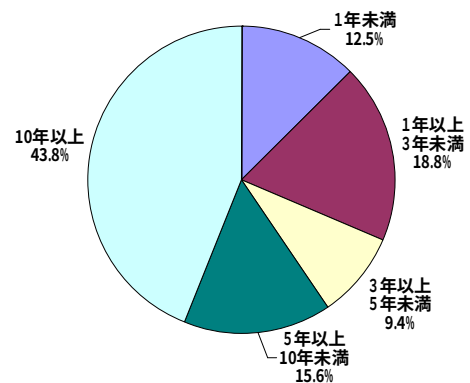
【旧掛川市】



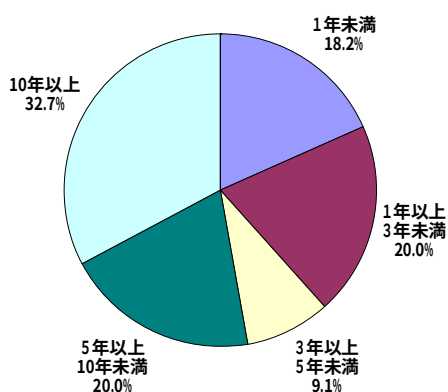
【東・西中学校区】



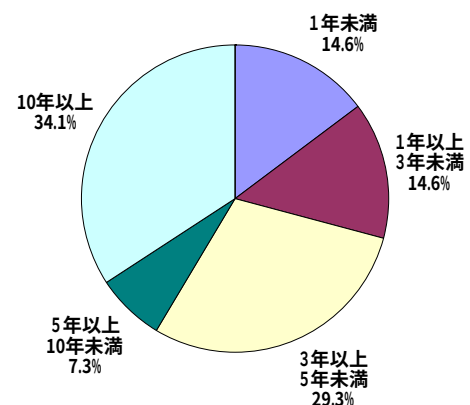
【東・西中学校区以外】



【旧大東町】



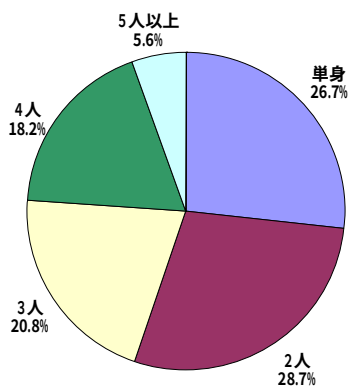
【旧大須賀町】



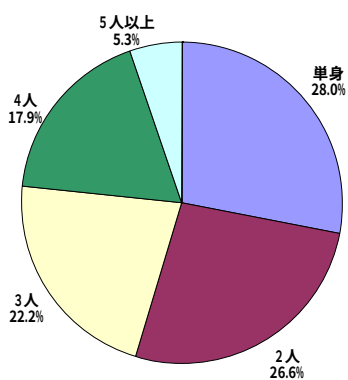
（２）地域別一世帯人数（問５）

「旧掛川市」の「東・西中学校区以外」と「旧大東町」では「２人」が 33.3%、38.2%と他地域に比べて割合が高い結果となりました。「旧大須賀町」では「４人」が 24.4%と他地域に比べて割合が高く、２世代世帯以上の世帯割合が高いことがうかがえました。

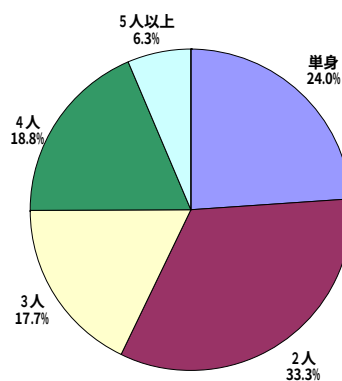
【旧掛川市】



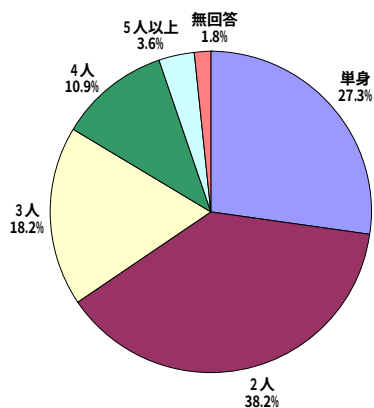
【東・西中学校区】



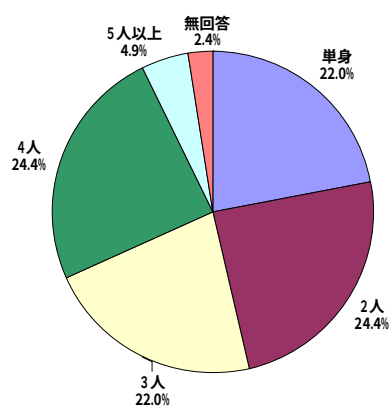
【東・西中学校区以外】



【旧大東町】



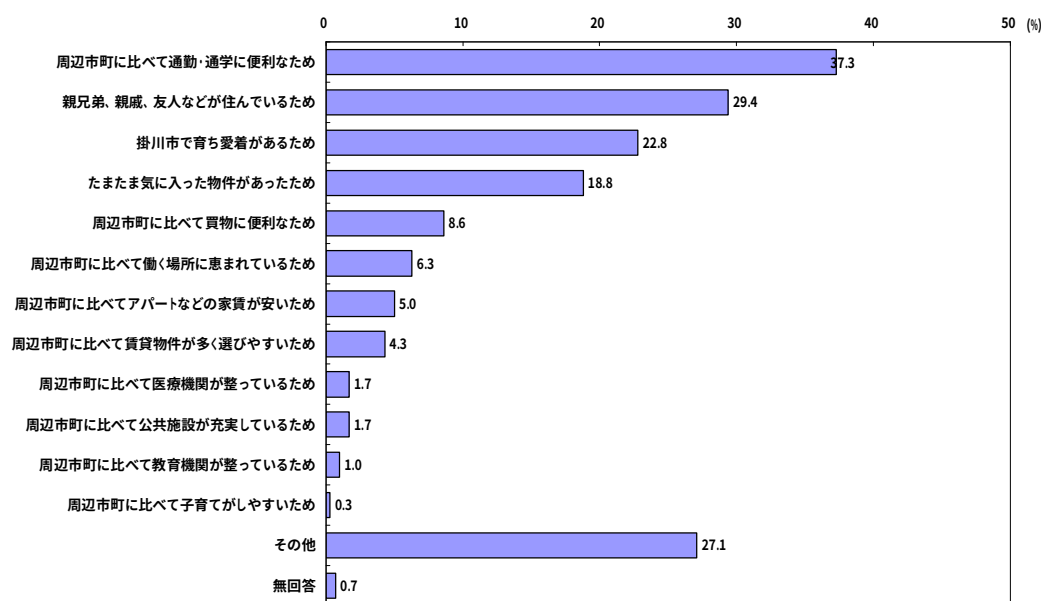
【旧大須賀町】



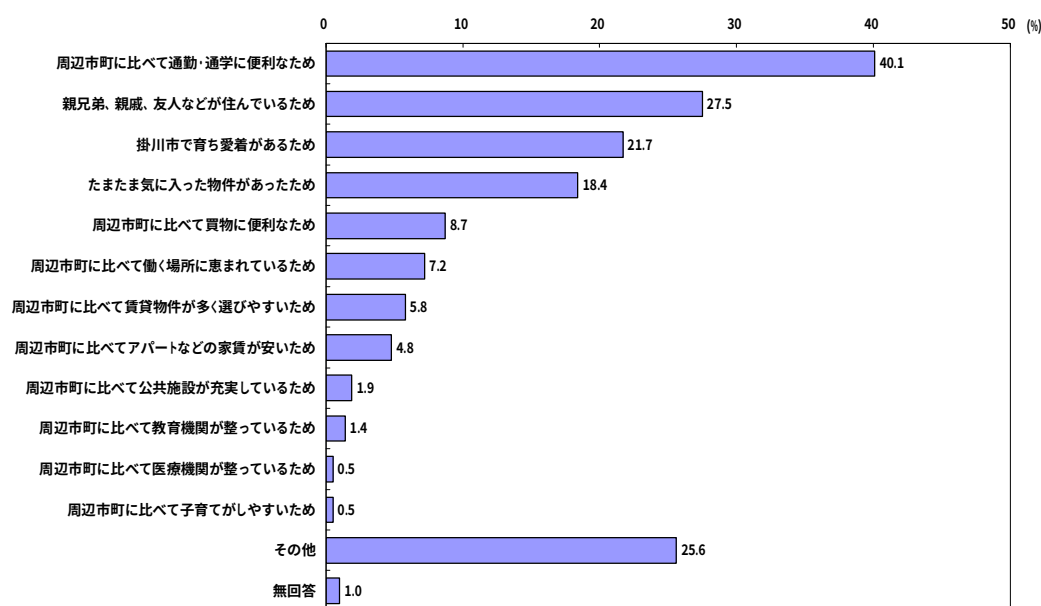
（３）地域別－住まい選択理由（問６）

掛川市に住まいを選んだ理由を尋ねたところ、「旧掛川市」では「周辺市町に比べて通勤・通学に便利のため」が 37.3%と他地域より高い結果となりました。中でも「東・西中学校区」は 40.1%であり、通勤・通学の利便性が住まい選択の大きな理由になっていることがうかがえました。一方、「旧大東町」や「旧大須賀町」では「親兄弟、親戚、友人などが住んでいるため」の割合が他の選択肢に比べて高く、住まい選択には地縁を重視していることがうかがえました。

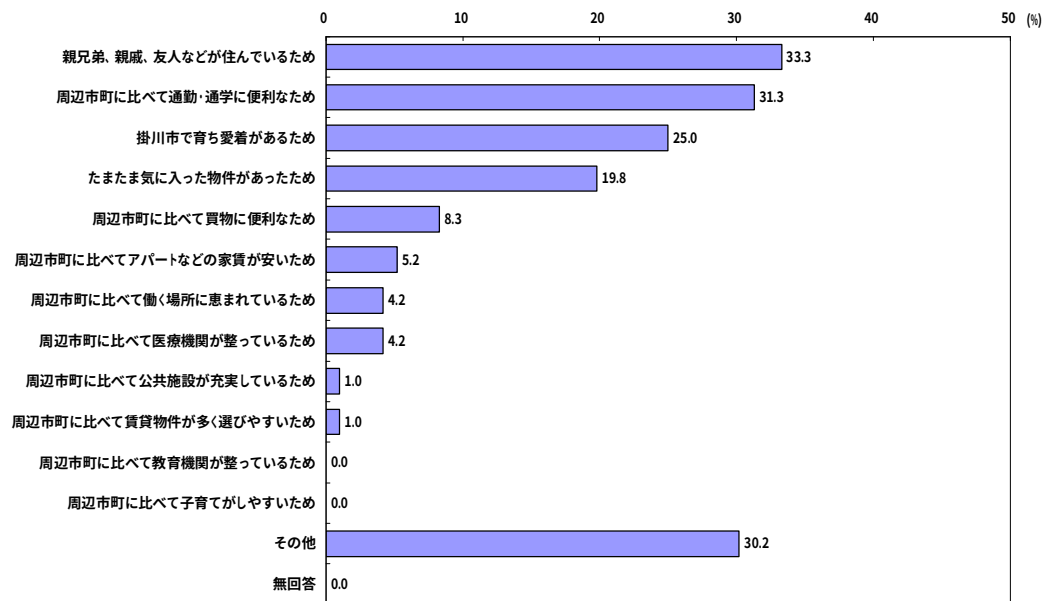
【旧掛川市】



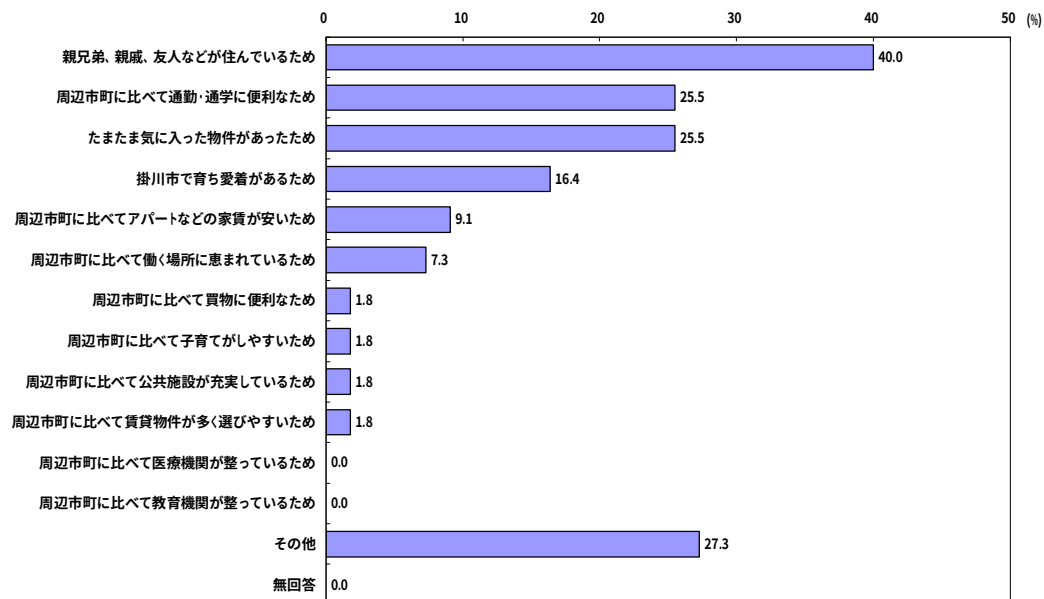
【東・西中学校区】



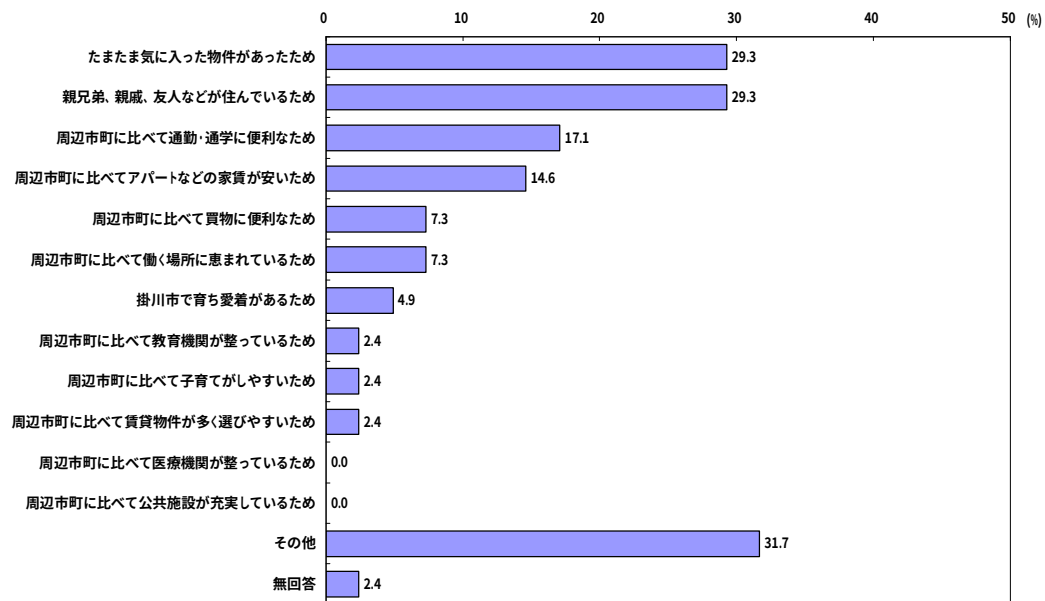
【東・西中学校区以外】



【旧大東町】



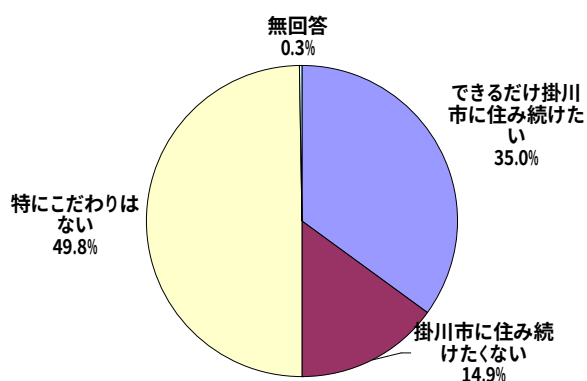
【旧大須賀町】



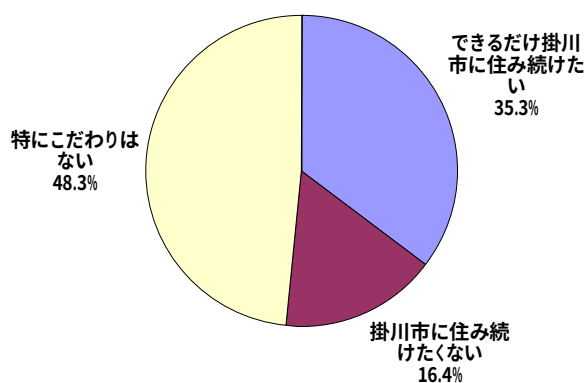
（４）地域別－住み続ける意向（問７）

将来も掛川市に住み続ける意向を尋ねたところ、「特にこだわりはない」は「旧掛川市」と「旧大東町」では約５割、「旧大須賀町」では約６割を占め、地域に限らず居住地に対してこだわりを持たない人が多いことがうかがえました。「できるだけ掛川市に住み続けたい」は「旧掛川市」が35.0%と、他地域に比べて継続居住の割合が高い結果となりました。

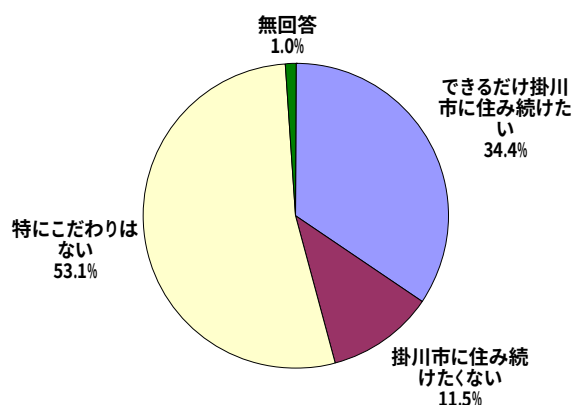
【旧掛川市】



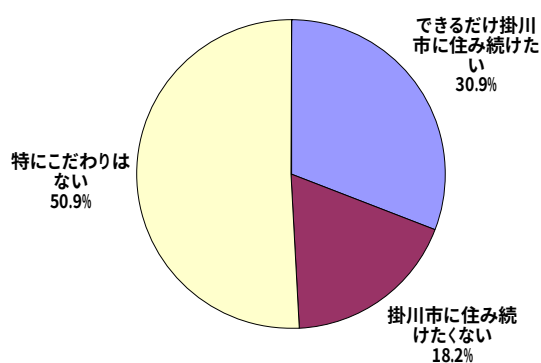
【東・西中学校区】



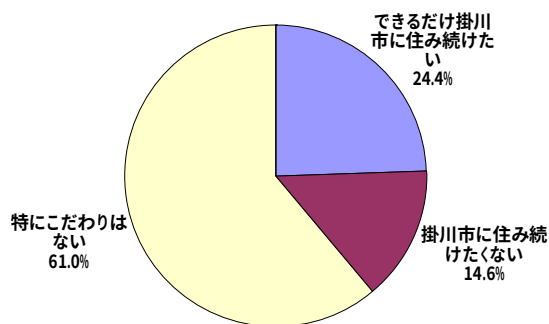
【東・西中学校区以外】



【旧大東町】



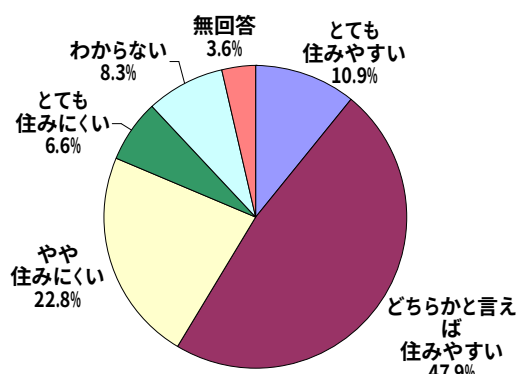
【旧大須賀町】



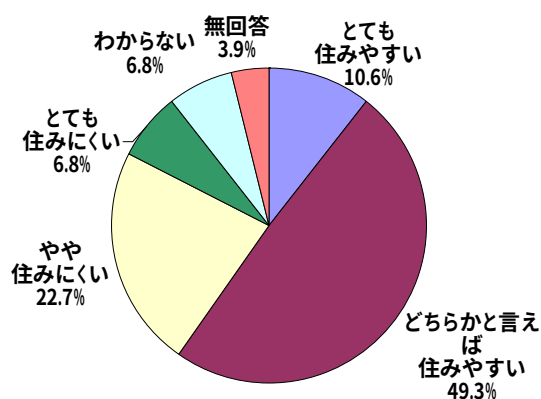
（５）地域別－住みやすさ（問８）

掛川市の住みやすさを尋ねたところ、「とても住みやすい」と「どちらかと言えば住みやすい」を合わせた肯定的回答は、「旧掛川市」58.8%、「旧大東町」56.3%、「旧大須賀町」26.8%であり、地域による差異が見られました。「とても住みにくい」と「やや住みにくい」を合わせた否定的回答は、「旧大須賀町」が51.2%と他地域に比べて高い結果となりました。

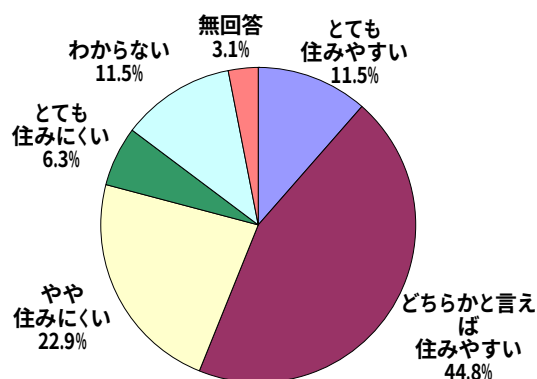
【旧掛川市】



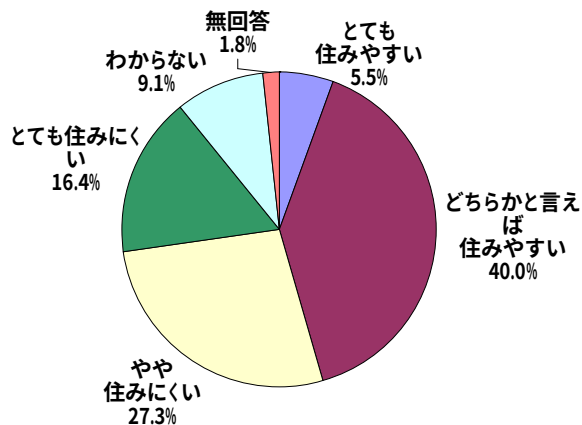
【東・西中学校区】



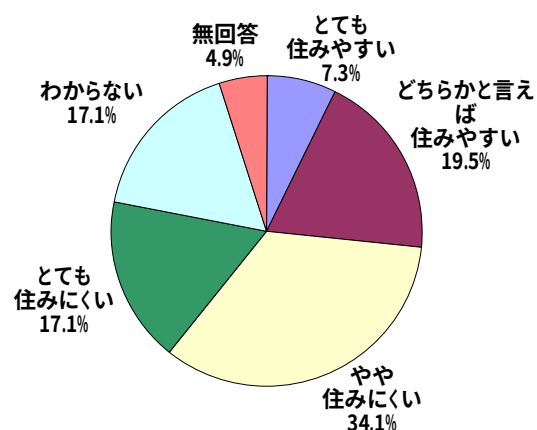
【東・西中学校区以外】



【旧大東町】



【旧大須賀町】

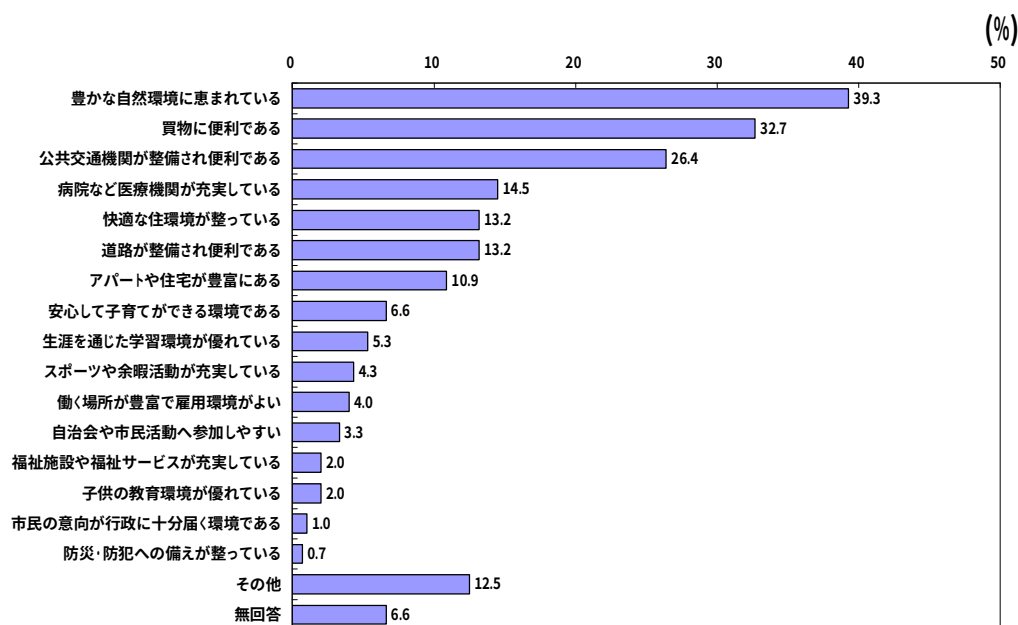


（６）地域別－住みやすいと感じる点（問９）

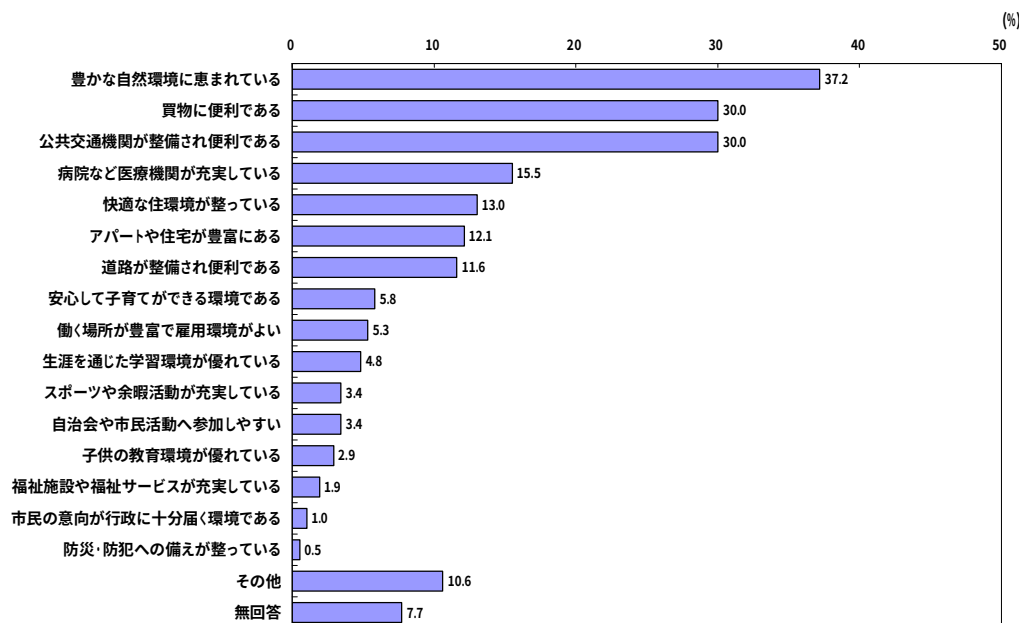
掛川市が住みやすいと感じる点を尋ねたところ、どの地域も「豊かな自然環境に恵まれている」が最も割合が高く、次いで「買物に便利である」の割合が高い結果となりました。

「旧掛川市」の「東・西中学校区」では、「公共交通機関が整備され便利である」が30.0%と、他地域に比べて割合が高くなりましたが、しかし、それ以外の地域、特に「旧大東町」と「旧大須賀町」では「公共交通機関が整備され便利である」の割合は低く、地域による差異が見られました。

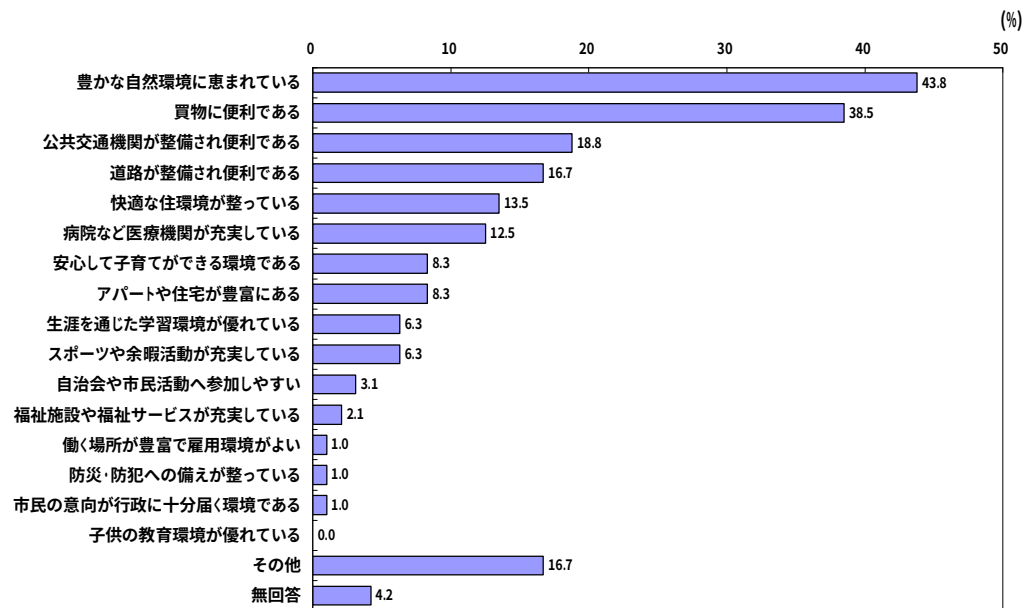
【旧掛川市】



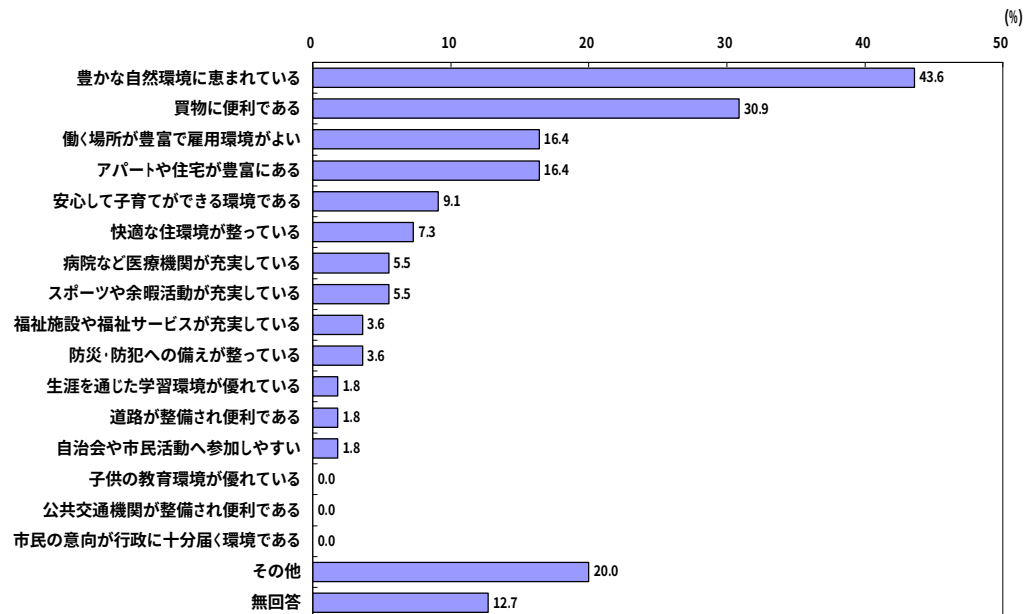
【東・西中学校区】



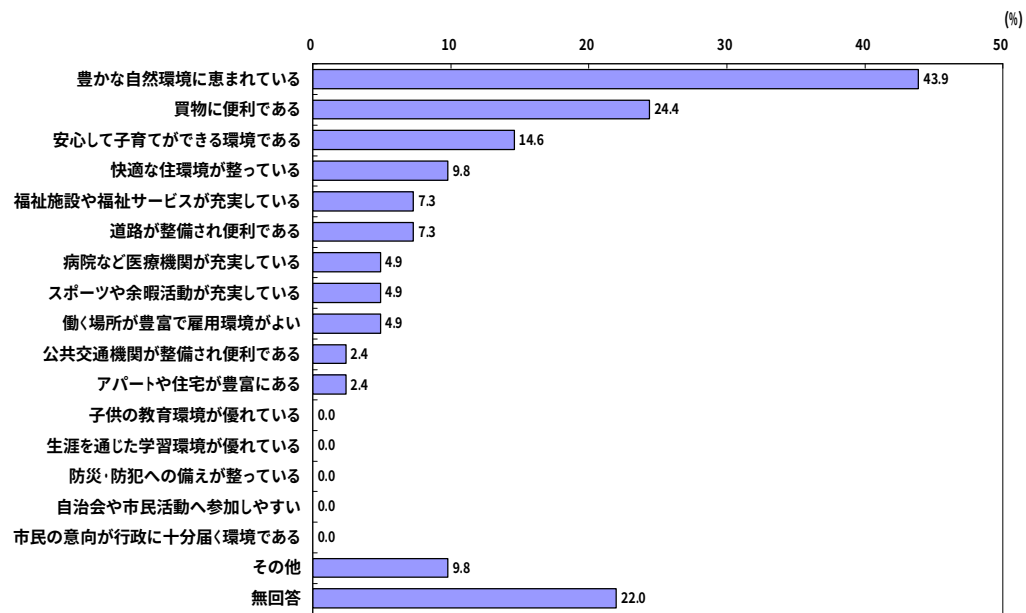
【東・西中学校区以外】



【旧大東町】



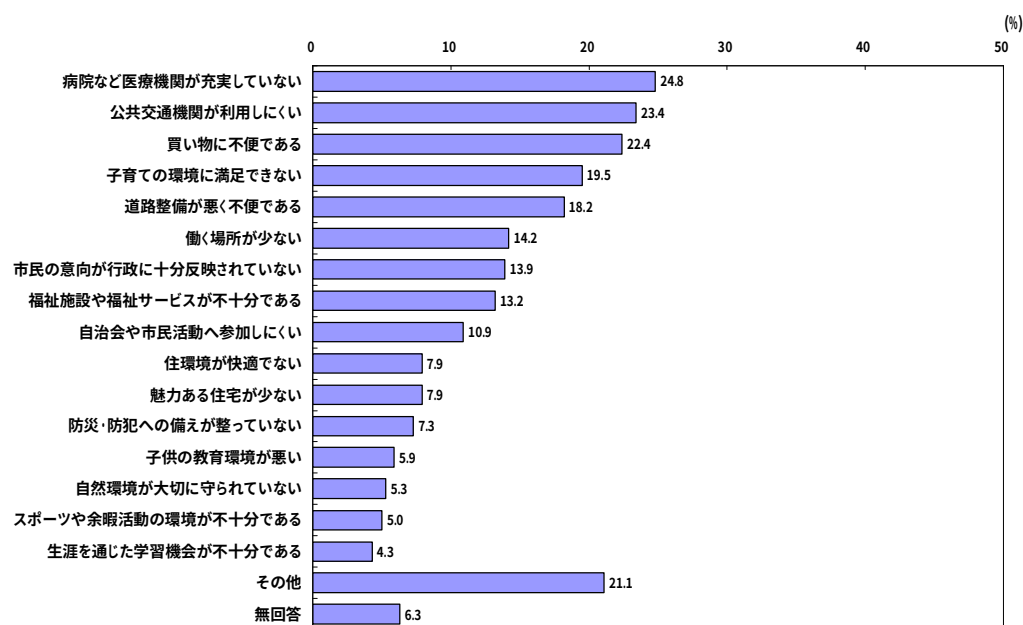
【旧大須賀町】



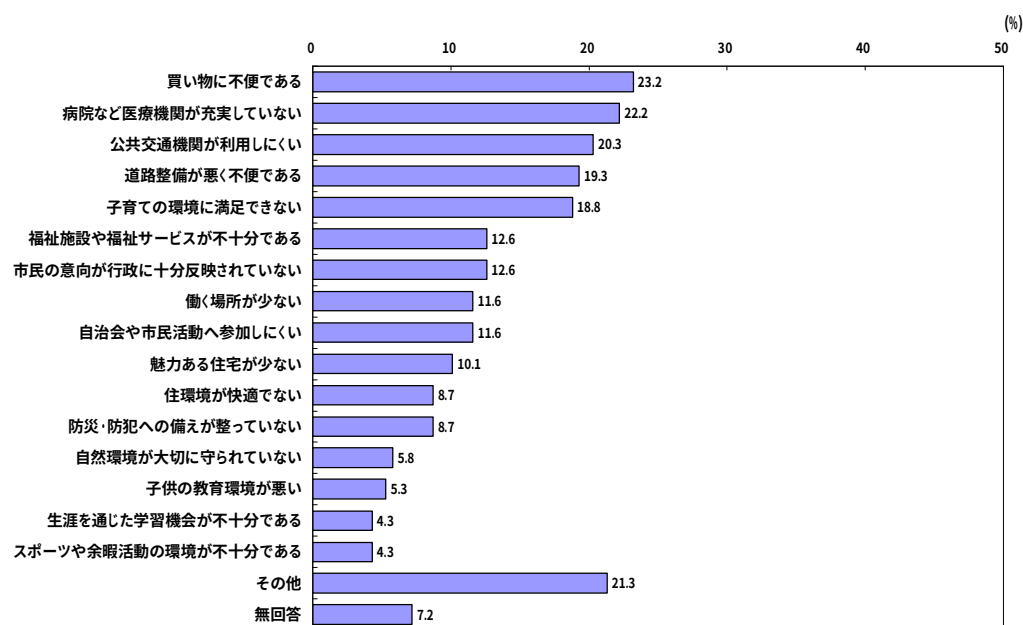
（７）地域別－住みにくいと感じる点（問１０）

掛川市が住みにくいとを感じる点を尋ねたところ、「公共交通機関が利用しにくい」は「旧大須賀町」46.3%、「旧大東町」41.8%と他の選択肢を大きく上回り、交通の不便さが住みにくさの大きな要因となっていることがうかがえました。「旧掛川市」の「東・西中学校区以外」も30.2%と、「東・西中学校区」の20.3%を上回り、交通不便さの差異が見られました。この他、「旧大東町」や「旧大須賀町」では「道路整備が悪く不便である」や「買物に不便である」の割合が「旧掛川市」よりも高く、地域による差異が見られました。

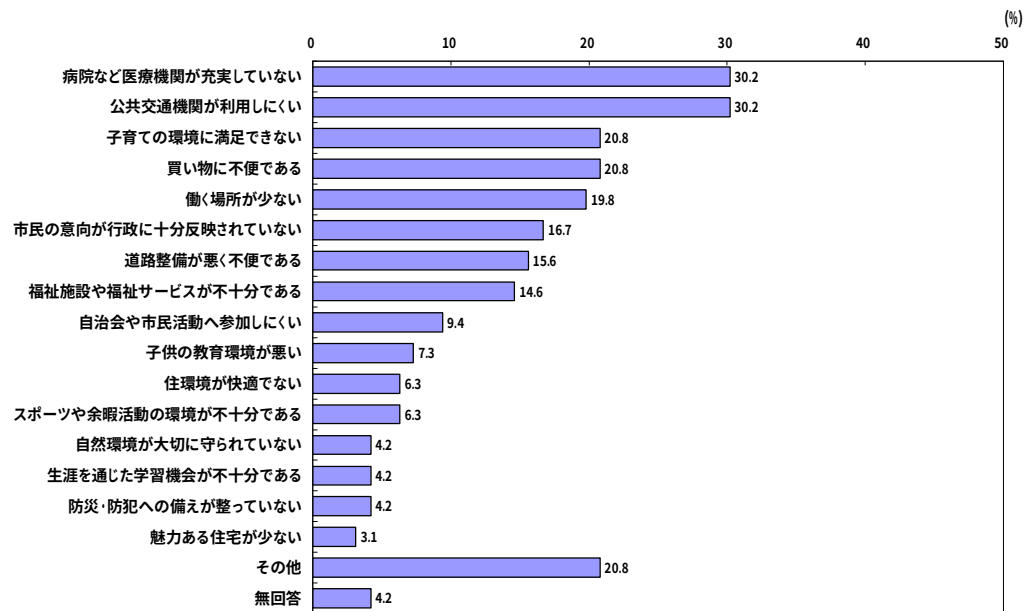
【旧掛川市】



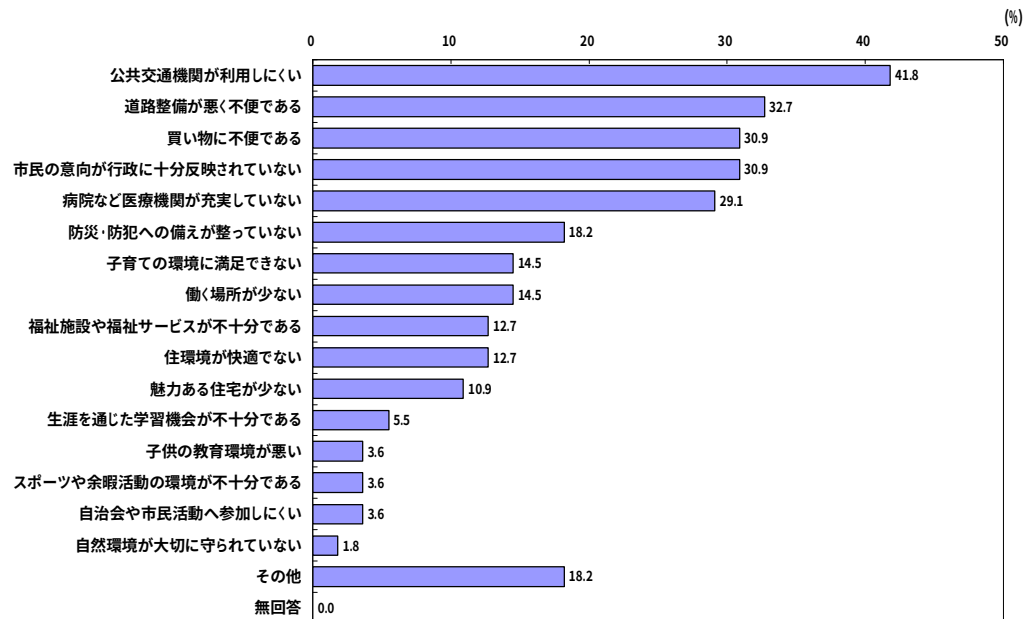
【東・西中学校区】



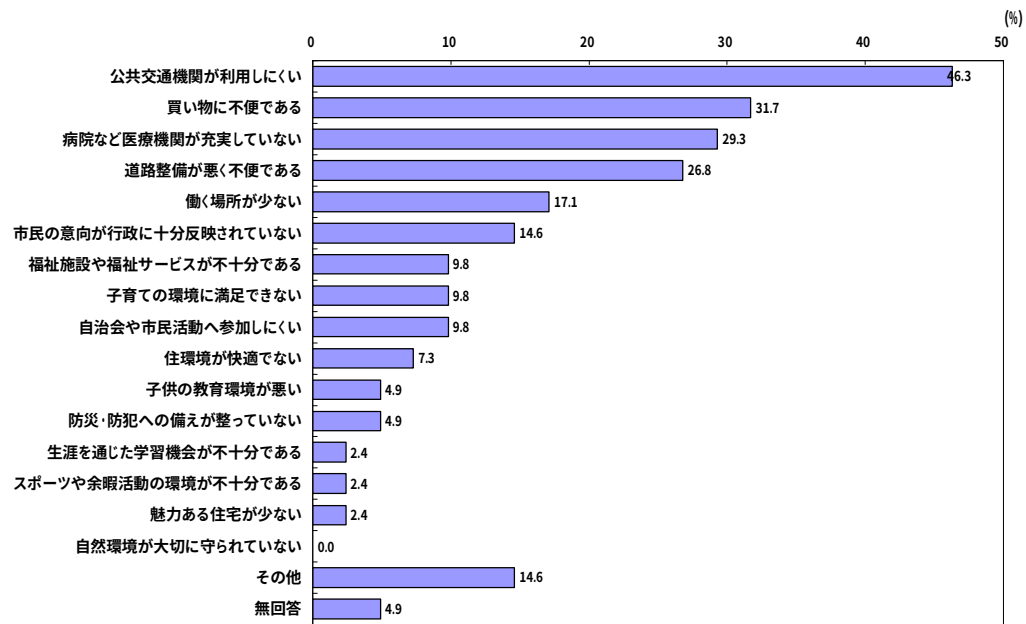
【東・西中学校区以外】



【旧大東町】



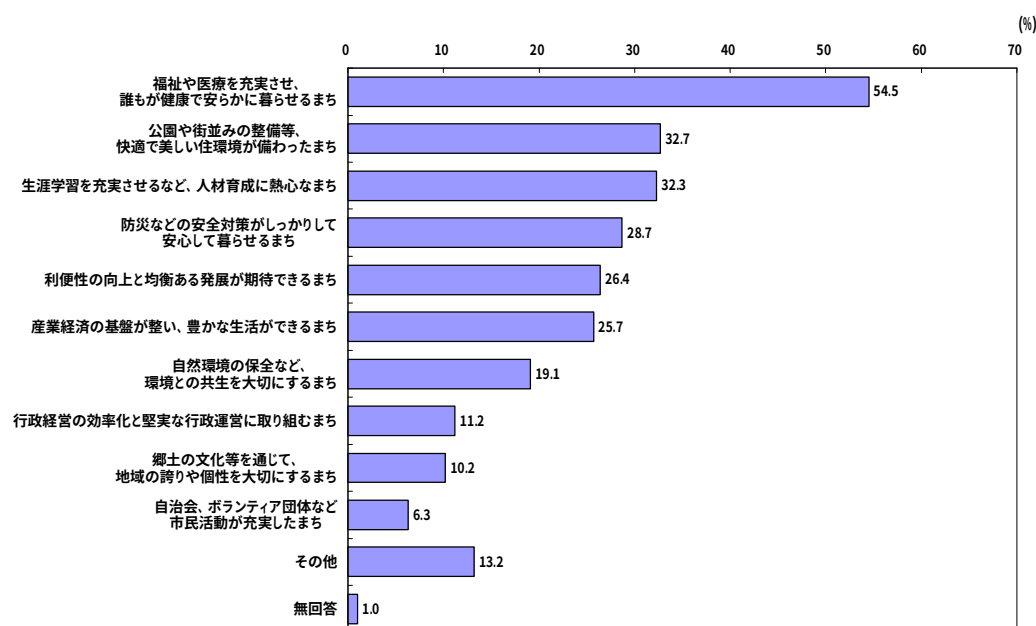
【旧大須賀町】



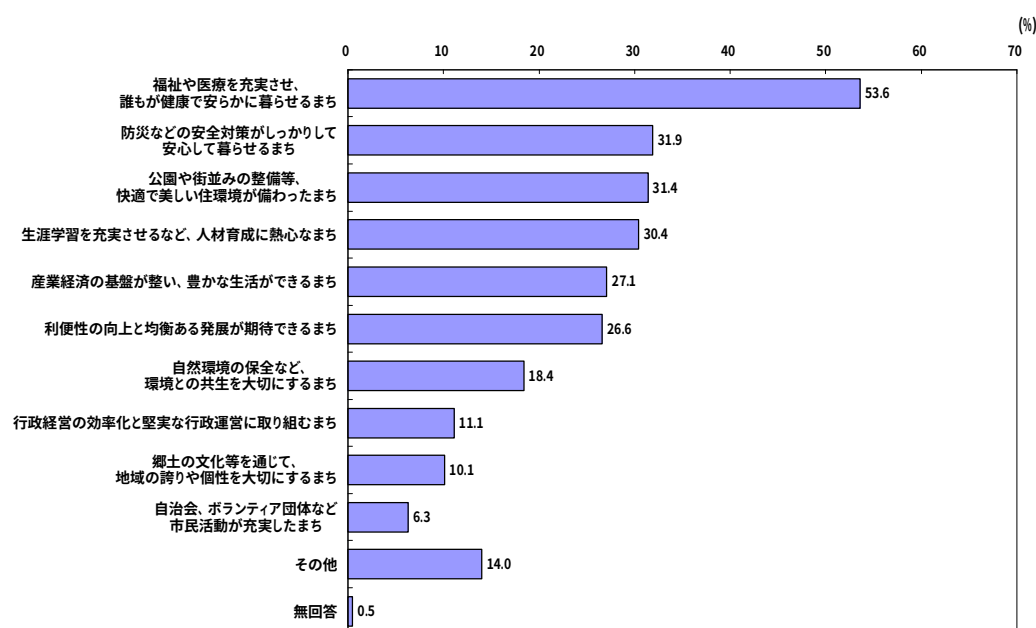
（８）地域別－掛川市が目指すべきまちづくり（問１１）

これからの掛川市が目指すべきまちづくりについて尋ねたところ、「福祉や医療を充実させ、誰もが健康で安らかに暮らせるまち」はどの地域も５割以上を占め、支持されていることがうかがえました。「旧大須賀町」と「旧大東町」では「利便性の向上と均衡ある発展が期待できるまち」の割合が「旧掛川市」よりも高く、「旧大東町」では「防災などの安全対策がしっかりして安心して暮らせるまち」の割合が他地域よりも高く、まちづくりへの期待の差異が見られました。

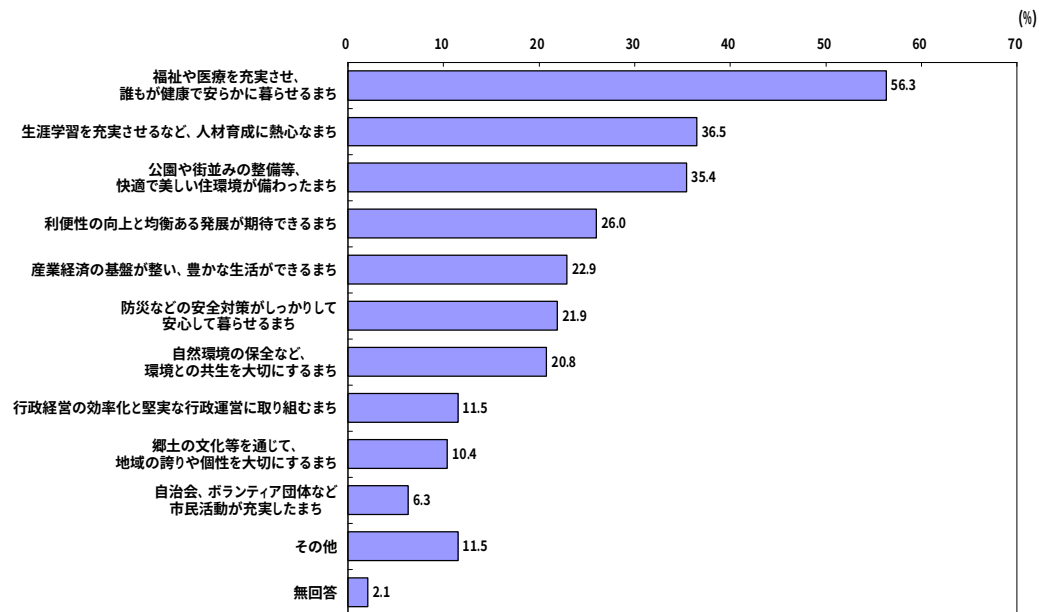
【旧掛川市】



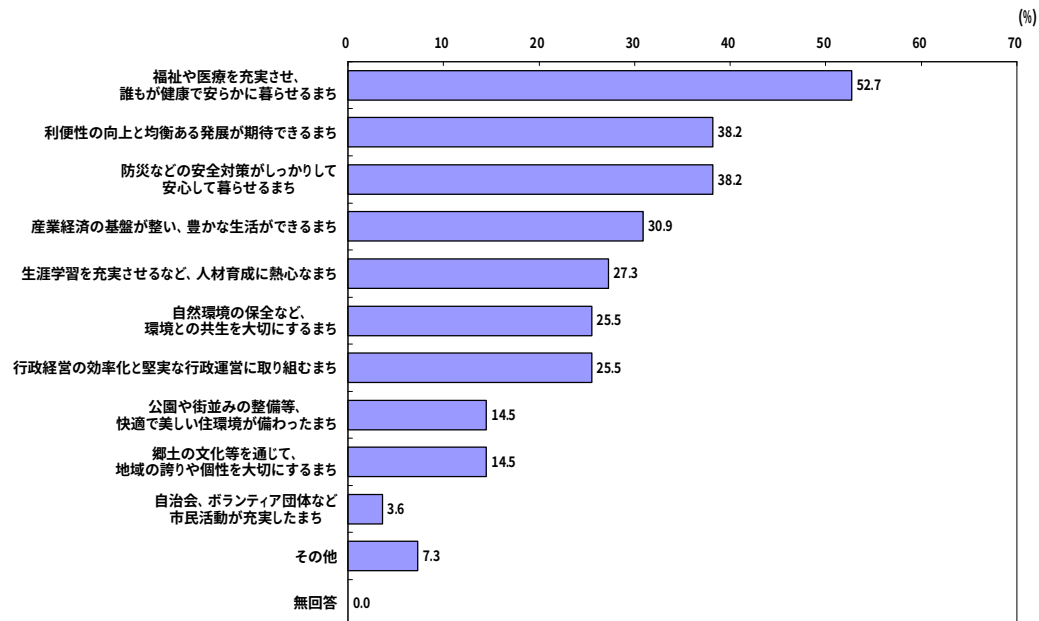
【東・西中学校区】



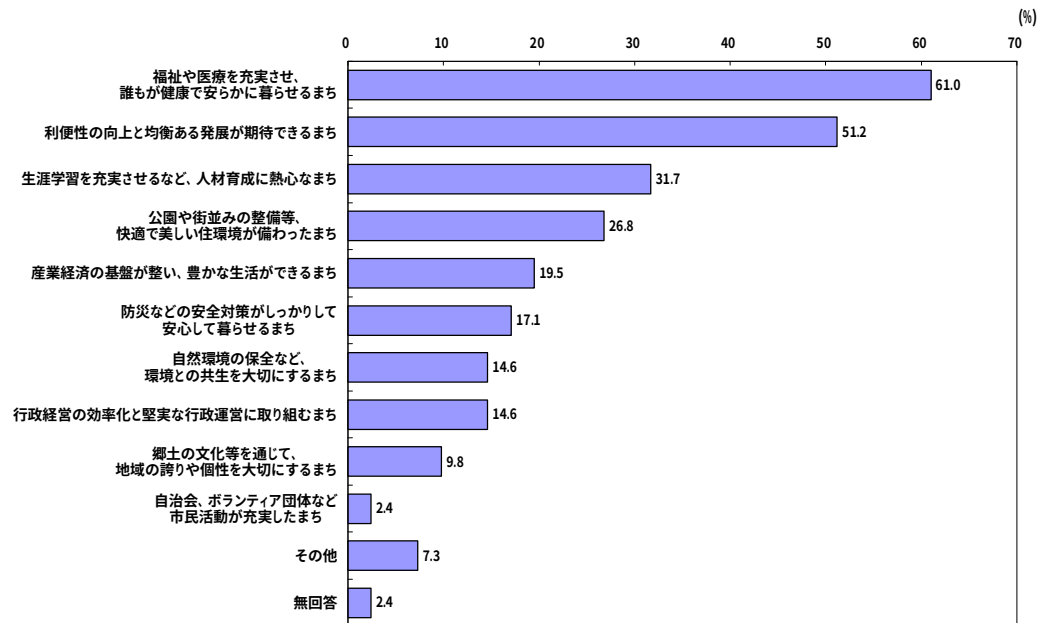
【東・西中学校区以外】



【旧大東町】



【旧大須賀町】



第7章 自由回答結果

(1) 保健医療福祉分野の自由回答

保健医療福祉分野に関する自由回答は 55 通でした。その内容は、「子育て支援」21 通、「医療」14 通、「子育て施設」13 通、「高齢者福祉」8 通、「健診」5 通、「その他」9 通でした。(複数の分野にわたる回答があるため、分野別自由回答数と合計は一致しない。)

【自由回答欄のご意見】

1	もっと子育てしやすい環境を整えるべきだと思います。医療費の無料化や、公立幼稚園にかわる私立幼稚園の補助など…。掛川市はいいと言われるような独自の育児支援があったら、と思います。e x. 子供3人以上の家庭は特典(買い物、バスの割引など)を作ってほしい。富山の方にあると聞いたことがあります。
2	掛川市は公立の幼稚園が少ないと思います。公立幼稚園は地元地区優先なので、地区に幼稚園がないと、入園できない場合があります。地元地区に幼稚園がなければ私立に入園しなければいけません。金銭的に負担です。
3	掛川病院の小児科がなくなるかもしれないということを耳にしたことがあり不安です。小児科不足の現在、厳しい現実かと思いますが、静岡～浜松の間の中核として、子どもを育てていくのに安心できるまちになってほしいです。また、障害を持つ児・人のサービスの充実もお願いします。
4	乳児の1才児健診をやって欲しいです!! 1才の頃は「あんよ」「ことば」「食事」「オッパイ」「夜泣き」と色々心配事があります。友人は市内の病院に1才児健診を頼んだらしいのですが、3件の小児科で断われ、徳育センターでも断われて困ってしまい、浜松まで行って有料でやってきたそうです。私もかなり心配でしたので、ぜひ実施して下さい! 浜松では普通にやっているそうですし…。
5	掛川市には、高令者用の賃貸住宅(市営)がないので、年金生活の老夫婦や、一人暮らしの高令者には、民間のアパートやマンションの家賃は、大変苦しいです。高令化の現状を考えて、高令者にとって、買物や、医療機関の便利な場所に、作って頂きたいと思います。又その様な住宅問題の相談窓口があれば助かります。

(2) 自然・環境分野の自由回答

自然・環境分野に関する自由回答は 28 通でした。その内容は、「ごみ関連」11 通、「上水道」8 通、「自然環境」3 通、「騒音振動」2 通、「その他」7 通でした。

【自由回答欄のご意見】

1	ゴミ出しの際、ゴミ袋に、住所・氏名を記入して出さなければいけないのは、とても嫌です。個人情報保護の観点からしても、改善してほしいです。
2	ごみ出しの件ですがプラスチック回収が月に2回では少ないのではないのでしょうか? せめて週1回は回収お願いしたいです。意外とプラはたまりますので。
3	袋井市から掛川市にうつり住んでいますが、とにかく水がまずい。のめません。何とかありませんか! 袋井が恋しい今日このごろ。水を何とかして下さいませ!
4	税金が高い。水道代も高い。…光熱費が高いと、今後子供の事を考えると、近くの市町村への移動も考えざるをえない…。商店も少なく、大型店の一社独占的で、買い物もしづらい。公共施設の充実よりも、市民の立場で物事を動かして欲しい。町も活気がない。
5	掛川へ住みまして、27年。驚く程、家、店、アパート、マンションが建ちました。その為、山が切り崩され自然の緑がなくなり、これでよいのか? と、本当に悲しくなっています。山で育った私は、自然の山が大好きです。これ以上、緑をなくさない様、お願い申し上げます。

(3) 教育・文化分野の自由回答

教育・文化分野に関する自由回答は26通でした。その内容は、「幼保園等」14通、「歴史文化」5通、「青少年健全育成」4通、「給食」1通、「その他」6通でした。

【自由回答欄のご意見】

1	幼保一元化で、市内の幼稚園の保育料等も、同一にするべき。住む場所によって料金に差があるのは、おかしい。子供を多くほしかったが、これでは小子化に拍車をかけているとしか思えない。
2	掛川市が勧めている「幼保育」ですが、現在公立の幼稚園の月謝から大幅に値上がり（3倍近くも）してしまうので、「大反対」です！！小子化と言っているのに、このままでは、幼稚園すら通うのもお金がかかり大変です。3人目を産みたかったのですが、経済的に考えると諦めるしかありません。本当に必要なのか、直接住んでいる人、通っている人の意見を聞いて考えて欲しかったと思います。給食費・バス代・授業料などが高すぎるので、もっと補助金を上げて欲しい。あと幼児に対して（高齢者だけでなく）、インフルエンザ接種に補助金も出る様になって欲しい。
3	袋井、磐田等近隣市町に比べると子供が遊べる公園、大型遊具等を備えた皆が集まる公園が絶対数が少なすぎる。とても憤りを感じる時もある。また学童保育等についても子育て環境面のできるだけ速やかな対応を望む。
4	子どもたちが想像力豊かに育っていくようなプロジェクトをやっていったり、びっくりするようなイベントを企画してほしい。文化・アートへの力の入れなさすぎには、悲しい。
5	文化、教育に力をこれからも入れて欲しい。図書館は、素晴らしいです！！

(4) 経済・産業・観光分野の自由回答

経済・産業・観光分野に関する自由回答は42通でした。その内容は、「買物」23通、「駅前・街中」19通、「食事・娯楽」8通、「観光・ブランド」4通、「その他」6通でした。

【自由回答欄のご意見】

1	掛川市には大きなデパート、ショッピングをする場がないので買いものは他の市まで行っています。是非、掛川市に大きなデパートができるような計画をたてて欲しい。
2	新幹線が止まる点は良いですが、町自体の活気は袋井や磐田に劣ると思います。一番大きな店がサンテラスユニーでは、地元で買い物する気になりません。隣町からでも出掛けたいような魅力のあるもの、(店でも施設でも)をもっと作るべきです。私の実家は掛川と同じぐらいの人口ですが、袋井のジャスコレベルの店が3つありますよ。(最寄の大きな都市までもJRで30分と、掛川と同条件です)
3	大型S.C、美味しいレストラン、映画館等が少なく、休みの日には浜松に出掛けたい。掛川市にも前記の娯楽施設があると良い。誘致には難しい面があると思いますが駅前再開発を利用し、休日でも掛川市内で楽しく利用出来る施設があると便利。
4	掛川駅周辺に観光出来る目玉がない。駅へ降りても、掛川城ぐらいしかない。町中がさみしい。店が飲み屋ばかりである。
5	ただお城がたっているだけで町の中みは、何もない。これといって掛川でめずらしいおみやげ物・食べ物屋がない。お城の電気代がもったいない。掛川には、住みたくない。

(5) 都市基盤分野の自由回答

都市基盤分野に関する自由回答は 81 通でした。その内容は、「交通機関」24 通、「道路」23 通、「街中・街並み」21 通、「公園」9 通、「住宅」7 通、「街灯」5 通、「その他」10 通でした。

【自由回答欄のご意見】

1	①道路整備が悪く人口の割りに渋滞しやすい。②市内主要道路にもかかわらず街灯が無い道がほとんど、夜は暗くて非常に危険！特に②については、行政レベルとしては簡単且つ最低限度基本的なことではないでしょうか？町や村ではあるまいしとてもお粗末です。生涯学習都市もいけれどまずここから着手すべきでは？転勤できました。今までこんなに暗い道見たことがありません。ずっとこの町に住んでいると気づかないと思いますが、転勤者は掛川市に非常に厳しい見方をしています。
2	交通事情がわるく、市内移動するのがとても不便です。バスの充実が望まれます。片側一車線が多く、朝通勤に少し渋滞します。南北に走る道路の拡充が望まれます。
3	自然が多いのは良いが、子供が安全に遊べる公園が近くなって不弁に感じます。掛川駅（掛川市立病院）までの直通のバスが無いので考えてほしい。
4	駅前商店街がもっと、元気になればいいと思う。外国の人（ブラジルの人など）といっしょに、お祭などイベントを作って、ふれあいの機会があればと思ってます。並木道や子供達が行きたくなるような公園など緑や花がある町になってほしい。
5	設備の整った新しいタイプの市営住宅をぜひ作ってもらいたいです。20代30代の夫婦がマイホーム取得できるまでの期間を快適に過ごせるように家賃を安く、キレイで広い市営住宅をぜひ希望します。今現在私を含めまわりの友達もみんなアパートに入っていますが毎月の家賃など支払いするものばかりでマイホーム資金が貯まりません。これでは子供を作るのも考えてしまい、ますます少子化になってしまおうと思います。

(6) 防災危機管理分野の自由回答

防災危機管理分野に関する自由回答は 28 通でした。その内容は、「防犯」15 通、「交通・違法駐車」10 通、「外国人」3 通、「災害対策」2 通、「その他」1 通でした。

【自由回答欄のご意見】

1	この頃あき巢ねらいがあちらこちらであります。防犯に力を入れて下さい。ひとり暮らしでも安心して暮らせる町にしてほしいです。
2	夜、街中を車で通ると、酔っ払いが道いっぱいに広がって歩いていて、危ない。また風紀も悪い。駅南は電燈がなく大変暗い。一人では歩けません。アパートの住人は自治会から仲間はずれ。声をかけてもらえば参加したい。広報が聞こえない。文化、芸術に対するレベルが低いように思う。
3	主人の転勤のため掛川に越してきてまだ3ヶ月なのですが、感じたことは道路標識の少なさです。十字路でもどちらに止まれの文字がないので、とても危なく、夜なども危険です。特に私の住む長谷は、十字路が多いので気になります。
4	こゝ10年で外国人労働者が倍以上になっています。いろんな事件も多くこの宿舎も私が入居の時は日本人は70室。今現在日本人15室。不安な日々を過ごすこともあります。安全な掛川市を希望します。
5	津波の防災対策はどうなっているのですか？5m以上の津波がきた場合、どこの地区はどれ位の被害が予想される…など教えていただきたいです。横須賀幼稚園など津波が避難する前にきてしまった場合、大丈夫なのだろうかと心配です。ぜひ教えて下さい。

(7) 協働交流・行財政改革分野の自由回答

協働交流・行財政改革分野に関する自由回答は 44 通でした。その内容は「情報伝達」11 通、「市民参加」9 通、「地域住民の共存問題」8 通、「市政に対して」5 通、「その他」18 通でした。

【自由回答欄のご意見】

1	月 1, 0 0 0 円の自治会費を支払っているが毎回の公報が届かないので市のイベント等がわからないので困っています。
2	市の広報や回覧板が配達されず、目に触れる機会がない。市が何をしているのか分からない。不満だ。
3	私共の借家には、組等の組織に入っていないために回覧や、農協祭や、文化会館での行事のプログラム等は配布されません。市民ではないような寂しさを感じます。(広報はきています。)
4	今後のまちづくりには上層部や特定の人の考えや意見ではなく一般市民の声をよく聞くべきです。それがより良いまちづくりに繋がると思います。旧大須賀町民の間では合併して良かったと感じている人は少なくこんなはずではなかったと思っている人が多く居ます。市民(一般)の声をもっと聞くべきです。税は上がりサービスが低下では何の為の合併か疑問です。行政の目が行き届かなくなりとり残され衰退が懸念されます。市職員数も多いのだからもっと末端まで目配り気配りをするべきです又すべてを旧掛川市に合わせる事も納得のいかないところです。
5	新市長になってから色々なアンケートを書く事が多くなった。その成果が実現されるのだろうか? 市民の意見が届くだけでなく実現させてほしい。

(8) その他分野の自由回答

上記の 7 分野に含まれないその他の自由回答は 46 通でした。その内容は、「市職員に対して」6 通、「掛川市に対して」4 通、「アンケートに対して」4 通、「市長に対して」3 通、「その他」28 通でした。

【自由回答欄のご意見】

1	市役所職員の対応が他の市より不親切さを感じます。それだけで掛川の印象が左右されることを覚えてほしい。住み良い街づくりには一番大事だと思います。
2	掛川は地理的にも環境の面でも大変に魅力的な街です。市民がもっと誇りに感じ、全国にその良さを P R するだけの価値ある街と思います。仕事の転勤が縁で 7 年余り住んでおりますが本当に気に入っている街です。祭りもサイコー! がんばれ掛川市民!
3	この様な意見を言う機会ができたことは、ありがたいと思いますが、チラシをフルカラーにする必要はないと思います。堅実な行政経営を望みます。
4	戸塚市長さんは私たち市民の声に親身になって対応してくださっていて、たいへんありがたいと思いますが、実際にそれらを対処くださる職員のみなさんの声にももっと耳を傾けたほうがスムーズに事が動くのではないかと思います。
5	市民ひとりひとりの意向を把握することも、ある程度理解できますが、我々の代表であります、市議員の方々が自信と責任を持って市政運営を進めて下さい。“合併して良かったな”と思えるまちづくりを期待しています。

資 料

○調査票（表面）

あなたの声を市政に!!

住みよい街づくりへ あなたの声をお聞かせください。

アパート、
マンション、団地などに
お住まいの市民の
みなさんへ

市民意識調査へのご協力のお願い

市民のみなさまには、日ごろから市政各般にわたり、御理解と御協力を賜り、心からお礼申し上げます。

掛川市では、合併により誕生した新しい掛川市の市政運営の根本指針として「総合計画」を策定いたします。

このたび、策定する「総合計画」は、平成19～28年度までの10年計画で、市の将来像とそれを実現するための基本的な政策大綱を示すとともに、それらを実現するための施策や根幹的事業を明らかにするものです。

このアンケートは、アパート、マンション、団地などにお住まいの市民みなさまの意向を把握し、より良い掛川市をつくるために行うアンケートです。

アンケート内容につきましては、すべて統計的処理をいたしますので、ご回答いただいた方にご迷惑をお掛けすることはありません。

お忙しいとは存じますが、アンケートの趣旨を御理解のうえ、是非とも御協力いただきますようよろしくお願いいたします。

平成17年11月

掛川市長 戸塚 進也



掛川に住んでみて
いかがですか？

このまま掛川に
住み続けたいと思いますか？

住みやすいとお思いの方
どんな点が良いですか？

住みにくいと感じている方
それは、どんな点ですか？



裏面のご質問をお読みいただき、答えのみをハガキにご記入の上、切り取って郵送してください（切手は不要です）。

このアンケートについてのお問い合わせは、
下記までお願いします。

掛川市 企画調整部 企画調整課

電話 0537-21-1127

FAX 0537-21-1167

E-mail kikaku@city.kakegawa.shizuoka.jp

料金受取人
掛川局承認

73

差し出し有効期間
平成18年3月31日迄

切手不要

郵便はがき

4 3 6 8 7 9 0

静岡県掛川市長谷701番地の1

掛川市役所 企画調整課 行

これからのまちづくりに関するご意見などをご自由にお書きください。



○調査票（裏面）



問1 あなたの性別はどちらですか。
該当する番号1つに○印をお付けください。

1. 男性 2. 女性

問2 あなたの年齢はおいくつですか。
該当する番号1つに○印をお付けください。

1. 20歳代 2. 30歳代 3. 40歳代
4. 50歳代 5. 60歳代 6. 70歳以上

問3 あなたのお住まいはどちらですか。
該当する番号1つに○印をお付けください。

1. 栄川中学校区 2. 東中学校区 3. 西中学校区
4. 桜が丘中学校区 5. 原野谷中学校区 6. 北中学校区
7. 城東中学校区 8. 大浜中学校区 9. 大須賀中学校区

問4 あなたは掛川市に何年お住まいですか。
該当する番号1つに○印をお付けください。

1. 1年未満 2. 1年以上3年未満 3. 3年以上5年未満
4. 5年以上10年未満 5. 10年以上

問5 あなたを含めたご家族は何人ですか。
該当する番号1つに○印をお付けください。

1. 単身 2. 2人 3. 3人
4. 4人 5. 5人以上

問6 どのような理由で、掛川市に住まいを選んだのですか。
該当する番号3つまで○印をお付けください。

1. 周辺市町に比べて通勤・通学に便利のため
2. 周辺市町に比べて買物に便利のため
3. 周辺市町に比べて働く場所に恵まれているため
4. 周辺市町に比べて医療機関が整っているため
5. 周辺市町に比べて教育機関が整っているため
6. 周辺市町に比べて子育てがしやすいため
7. 周辺市町に比べて公共施設が充実しているため
8. 周辺市町に比べてアパートなどの家賃が安い
9. 周辺市町に比べて賃貸物件が多く選びやすい
10. たまたま気に入った物件があったため
11. 親兄弟、親戚、友人などが住んでいるため
12. 掛川市で育ち愛着があるため
13. その他 ()



問7 将来も掛川市に住み続けたいとお考えでしょうか。
該当する番号1つに○印をお付けください。

1. できるだけ掛川市に住み続けたい 2. 掛川市に住み続けたくない
3. 特にこだわりはない

問8 現在の掛川市の住みやすさは、どのように感じていますか。
該当する番号1つに○印をお付けください。

1. とても住みやすい 2. どちらかと言えば住みやすい
3. やや住みにくい 4. とても住みにくい
5. わからない

問9 現在の掛川市が住みやすいと感じる点はどこですか。
その理由について、該当する番号3つまで○印をお付けください。

1. 病院など医療機関が充実している
2. 福祉施設や福祉サービスが充実している
3. 安心して子育てができる環境である
4. 豊かな自然環境に恵まれている
5. 快適な住環境が整っている
6. 子供の教育環境が優れている
7. 生涯を通じた学習環境が優れている
8. スポーツや余暇活動が充実している
9. 働く場所が豊富で雇用環境がよい
10. 買い物に便利である
11. 道路が整備され便利である
12. 公共交通機関が整備され便利である
13. アパートや住宅が豊富にある
14. 防災・防犯への備えが整っている
15. 自治会や市民活動へ参加しやすい
16. 市民の意向が行政に十分反映されている
17. その他 ()

問10 現在の掛川市が住みにくいと感じる点はどこですか。
その理由について、該当する番号3つまで○印をお付けください。

1. 病院など医療機関が充実していない
2. 福祉施設や福祉サービスが不十分である
3. 子育ての環境に満足できない
4. 自然環境が大切に守られていない
5. 住環境が快適でない
6. 子供の教育環境が悪い
7. 生涯を通じた学習機会が不十分である
8. スポーツや余暇活動の環境が不十分である
9. 働く場所が少ない
10. 買い物に不便である
11. 道路整備が悪く不便である
12. 公共交通機関が利用しにくい
13. 魅力ある住宅が少ない
14. 防災・防犯への備えが整っていない
15. 自治会や市民活動に参加しにくい
16. 市民の意向が行政に十分反映されていない
17. その他 ()

問11 これからの掛川市は、
どのようなまちづくりを目指すべきでしょうか。
該当する番号3つまで○印をお付けください。

1. 福祉や医療を充実させ、誰もが健康で安らかに暮らせるまち
2. 自然環境の保全や資源循環型社会の構築など、環境との共生を大切にすまち
3. 公園や街並みの整備、生活排水処理など、快適で美しい住環境が備わったまち
4. 子供の健全な成長や生涯学習を充実させるなど、人材育成に熱心なまち
5. 郷土の文化や歴史の保全活用を通じて、地域の誇りや個性を大切にすまち
6. 工業、農業、商業、観光の振興による産業経済の基盤が整い、豊かな生活ができるまち
7. 道路や交通機関を充実させ、利便性の向上と均衡ある発展が期待できるまち
8. 防災、消防、防犯などの安全対策がしっかりした、安心して暮らせるまち
9. 自治会、ボランティア団体、NPO法人など市民活動が充実したまち
10. 市民との協働や民間活用を図り、行政経営の効率化と堅実な行政運営に取り組むまち
11. その他 ()

以上で質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。

キリトリ線

回答欄

問1 あなたの性別は **問2** あなたの年齢は

1 2 1 2 3 4 5 6

問3 あなたのお住まいは **問4** 何年お住まいですか

1 2 3 4 5 6 7 8 9 1 2 3 4 5

問5 掛川市を選んだ理由は

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

13 ()

問6 将来も住み続けたいか **問7** 住みやすさは

1 2 3 1 2 3 4 5

問8 住みやすいと感じる点は

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16

17 ()

問9 住みにくいと感じる点は

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16

17 ()

問10 これからの目指すまちづくりは

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

11 ()

ご意見の内容によっては、ご回答させていただく場合もありますので、
お忘れなければ、あなたのご住所、お名前をご記入ください。

ご住所 掛川市

お名前

あなたの住所・お名前は、このアンケートの回答目的以外には一切使用しません。

12月5日(日)までには投函ください。

